Nikon

スピードライト

# SB-700

## 使用説明書

# SB-700と使用説明書について



ニコン SB-700 をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

## 知りたいことの探し方

### 目次から （A-11）

操作方法、発光モード、撮影機能など、項目別に探せます。

### 目的別かんたん検索から （A-9）

名称や用語が分からなくても、使いたいことや知りたいことから探せます。

### 索引から （H-25）

英数字、五十音順の索引から探せます。

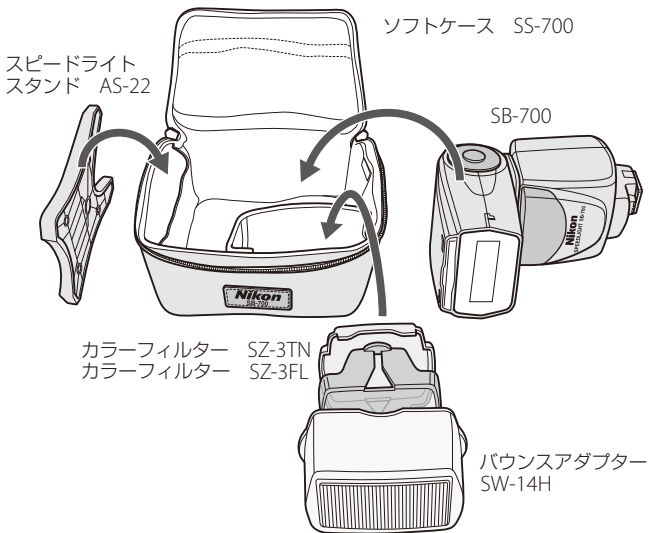
### 故障かな?と思ったらから （H-1）

動作がおかしいときや警告表示が出たときに役立ちます。

## ⚠ 安全上のご注意

安全にスピードライトをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。スピードライトをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくはA-14～A-21をご覧ください。

# 付属品をご確認ください

- ❑ スピードライトスタンド AS-22
- ❑ バウンスアダプター SW-14H
- ❑ カラーフィルター SZ-3TN（電球用）
- ❑ カラーフィルター SZ-3FL（蛍光灯用）
- ❑ ソフトケース SS-700
- ❑ 使用説明書（本書）
- ❑ 作例集
- ❑ 保証書
- ❑ 登録のご案内

# SB-700と使用説明書について

## SB-700について

SB-700は、ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）対応のカメラとの組み合わせに最適化された、ガイドナンバー28（ISO 100・m）/39（ISO 200・m）（照射角35mm、FXフォーマット、スタンダード配光時、20℃）の高性能スピードライトです。

### CLS対応カメラ

**FXフォーマット/DXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D1シリーズ、D100を除く）、F6、ニコンデジタルカメラCOOLPIX（P7000、P6000）**

## 使用説明書について

この「使用説明書」は、SB-700とCLS対応カメラ、CPUレンズ（🕮A-5）との組み合わせを前提に説明しています。
ご使用の前に使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

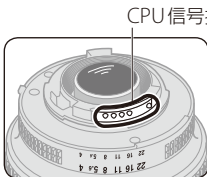
- CLS非対応一眼レフカメラとの組み合わせについては「CLS非対応一眼レフカメラ使用時」（🕮F-1）をご覧ください。
- i-TTL対応ニコンデジタルカメラCOOLPIX（P5100、P5000、E8800、E8400）との組み合わせについては「ニコン クールピクスとの組み合わせについて」（🕮G-1）をご覧ください。
- 別冊の「作例集」はSB-700の機能を生かして撮影した作例写真とライティングについて説明しています。
- カメラの機能や設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

## 本文中のマークについて

- ✔ 製品の故障や撮影の失敗を防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- 製品を使用する際に知っておいていただきたいこと、便利な情報やヒントを記載しています。
- 使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

## CPUレンズの見分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。

CPU信号接点

- IXニッコールレンズとの組み合わせでは使用できません。

## 使用説明書の取り扱いについて

- この使用説明書および作例集の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。
  http://www.nikon-image.com/support/manual/
- ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

## 用語と表記について

**初期設定**：ご購入時に設定されている機能やモードの設定状態です。

**ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）**：ニコンのスピードライトとカメラの先進的なデータ通信方式により、さまざまなスピードライト撮影機能を可能にしたシステムです。

**配光タイプ**：画面中央と周辺の光量差の制御タイプ。スタンダード配光、中央部重点配光、均質配光の3タイプが選択可能です。

**FX/DXフォーマット（撮像範囲）**：ニコンカメラの撮影画面サイズ。FXフォーマット(36×24)とDXフォーマット(24×16)の2つがあります。

**ガイドナンバー（GN）**：スピードライトの発光量を示す値。GN＝スピードライトから被写体までの距離（m）×絞り値（F）で表わします（ISO 100の場合）。

**照射角**：スピードライトの光が照射される角度です。

**調光距離**：スピードライトの光で適正露出が得られる、スピードライトから被写体までの距離です。

**調光範囲**：調光距離の範囲です。

**調光補正**：スピードライトの発光量を意図的に変えて、主要被写体の明るさを変えることをいいます。

**i-TTL調光モード**：モニター発光を行って被写体からの反射光をカメラが測光して、スピードライトの発光を制御します。

- **モニター発光**：被写体からの反射光を測光するために、本発光の直前に行われる極めて短時間の発光です。通常、本発光と区別して目視することはできません。

**バランス調光（i-TTL-BL調光）：**被写体と背景光のバランスを考慮して発光量を制御します。

**スタンダードi-TTL調光：**背景光を考慮せず、主要被写体が基準露光量になるように発光量を制御します。

**マニュアル発光モード：**撮影者が任意の発光量と絞り値の組み合わせで露出を設定できる発光モードです。

**距離優先マニュアル発光モード：**スピードライトから被写体までの距離を設定すれば、カメラの設定に合わせて適正な発光量をスピードライトが自動的に設定するマニュアル発光モードです。

**1段：**シャッタースピードや絞り値の変化量の単位。1段変化すると、カメラが取り込む光の量は2倍、または1/2になります。

**EV（Exposure Value：露出値）：**シャッタースピードや絞り値が1段変化すると、1EV変化します。

**ワイヤレス増灯撮影：**ワイヤレスで複数のスピードライトを同時発光させる撮影です。

**マスターフラッシュ（主灯）：**増灯撮影時に、リモートフラッシュに指示を送るスピードライトです。

**リモートフラッシュ（補助灯）：**マスターフラッシュからの指示を受けて発光するスピードライトです。

**アドバンストワイヤレスライティング撮影：**CLS対応のワイヤレス増灯撮影。マスターフラッシュから複数のリモートフラッシュのグループの発光を制御できます。

**クイックワイヤレスコントロールモード撮影：**リモートフラッシュをA、Bの2つのグループに分けて、簡単に光量比が設定できる増灯撮影モードです。

**SU-4タイプのワイヤレス増灯撮影：**特に動きが速い被写体に適しているワイヤレス増灯撮影です。

# 目的別かんたん検索

使いたいことや知りたいことから、記載ページを簡単に探せます。

## 撮影について -1 (SB-700 をカメラのアクセサリーシューに接続して使用する)

| 使いたいこと・知りたいこと | キーワード | 🕮 |
|---|---|---|
| 発光モードを知りたい | 発光モード | C-1 |
| いちばん簡単な手順で撮影したい | 撮影の基本ステップ | B-5 |
| 人物が引き立つポートレートを撮りたい | 中央部重点配光 | E-2 |
| 横に並んだ大勢の人の記念写真を撮りたい | 均質配光 | E-3 |
| 後ろの壁に映る影を消して撮影したい | バウンス撮影 | E-4 |
| ライティング状態を確認してから撮影したい | モデリング発光 | E-25 |
| 主要な被写体を明るく(暗く)して撮影したい | 調光補正 | E-20 |
| 蛍光灯や電球の影響を緩和して撮影したい | カラーフィルター | E-14 |
| スピードライトの光に色をつけて撮影したい | カラーフィルター | E-16 |
| 暗い被写体をオートフォーカスで撮りたい | AF 補助光 | E-23 |
| 人物と背景の夜景の両方をきれいに撮りたい | スローシンクロ (スローシャッター) 撮影 | E-29 |
| 人物の瞳が赤くならないように撮影したい | 赤目軽減発光撮影 | E-30 |
| CLS に対応していない一眼レフカメラと組み合わせて使いたい | CLS 非対応一眼レフカメラ使用時 | F-1 |
| ニコン クールピクスと組み合わせて使いたい | ニコン クールピクスとの組み合わせ | G-1 |

A B C D E F G H

## 撮影について -2（SB-700 をワイヤレスで使用する）

| 使いたいこと・知りたいこと | キーワード | 📖 |
|---|---|---|
| 複数のスピードライトを使って撮影したい | アドバンストワイヤレスライティング | D-2、D-9 |
| 簡単な手順でワイヤレス増灯撮影したい | クイックワイヤレスコントロールモード | D-13 |
| 動きが速いものをワイヤレス増灯撮影したい | SU-4 タイプ | D-3、D-17 |
| ワイヤレス増灯撮影ができるニコンクールピクスと組み合わせて使いたい | CLS 対応ニコン クールピクス | G-1 |

# 目次



## A お使いになる前に



## B 操作方法



## C 発光モード

## D ワイヤレス増灯撮影



## E 主な機能

# 安全上のご注意



ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

| | | |
|---|---|---|
| ⚠ | **危険** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。 |
| ⚠ | **警告** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ | **注意** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| 絵表示の例 | |
|---|---|
|  | △記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |
|  | ⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。 |

| ⚠ **危険** スピードライトについて | |
|---|---|
|  危険 | **電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること**<br>そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。 |
|  危険 | **電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと**<br>そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。 |

# 安全上のご注意

| ⚠ 警告 スピードライトについて | | |
|---|---|---|
|  | 分解禁止 | 分解したり修理・改造をしないこと<br>感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。 |
|  | 接触禁止 | 落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと<br>感電したり、破損部でケガをする原因となります。 |
|  | すぐに修理依頼を | 電池、電源を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。 |
|  | 電池を取る | 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと<br>そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。<br>電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。 |
|  | すぐに修理依頼を | 電池を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。 |
|  | 水かけ禁止 | 水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと<br>発火したり感電の原因となります。 |
|  | 禁止 | 引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと<br>プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。 |
|  | 発光禁止 | 車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと<br>事故の原因となります。 |
|  | 発光禁止 | スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと<br>視力障害の原因となります。<br>特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。 |
|  | 発光禁止 | 発光部を人体やものに密着させて発光させないこと<br>やけどや発火の原因となります。 |

## ⚠警告 スピードライトについて

| | |
|---|---|
| ⚠ 保管注意 | **幼児の口に入る小さな付属品は､幼児の手の届かないところに置くこと**<br>幼児の飲み込みの原因となります。<br>万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。 |
| ⚠ 警告 | **使用説明書に表示された電池を使用すること**<br>正しい電池を使用しないと、液もれ、破裂、発火の原因となります。 |
| 🚫 禁止 | **新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと**<br>液もれ、破裂、発火の原因となります。 |
| 🚫 禁止 | **マンガン乾電池、アルカリ電池、リチウム電池は非充電式電池ですので、充電しないこと**<br>液もれ、破裂、発火の原因となります。 |
| ⚠ 危険 | **ニッケル水素電池などの充電式電池の充電は、メーカー指定の充電器で、付属の注意事項を守って行うこと**<br>**「+」「−」を逆にしての逆充電、電池が熱いままの充電はしないこと**<br>破裂、発火、液もれの原因となります。 |

# 安全上のご注意

| ⚠ **注 意** スピードライトについて | | |
|---|---|---|
| | 感電注意 | ぬれた手でさわらないこと<br>感電の原因になることがあります。 |
| | 保管注意 | 製品は幼児の手の届かない所に置くこと<br>なめて感電したり、ケガの原因となることがあります。 |
| | 注意 | 強い衝撃を与えないこと<br>内部が故障し、破裂、発火の原因になることがあります。 |
| | 溶剤清掃禁止 | シンナーやベンジンなどの有機溶剤を使ってふかないこと<br>防虫スプレーの液剤を製品に吹きつけないこと<br>また、ナフタリン、樟脳の入った場所に保管しないこと<br>プラスチックケースが割れて火災や感電の原因となることがあります。 |
| | 電池を取る | 保管するときには電池を外すこと<br>発火、液もれの原因となることがあります。 |

| ⚠ **危 険** 電池について | | |
|---|---|---|
|  | 危険 | 電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること<br>そのままにしておくと､目に傷害を与える原因となります。 |

| ⚠ **危 険** ニッケル水素充電池について | | |
|---|---|---|
|  | 禁止 | 電池を火に入れたり、加熱しないこと<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|  | 分解禁止 | 電池をショート、分解しないこと<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |

## ⚠危険 ニッケル水素充電池について

| | |
|---|---|
| 禁止 | 新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
| 警告 | 電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
| 危険 | 専用充電器を使用すること<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
| 危険 | ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり保管しないこと<br>ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
| 危険 | 電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと<br>そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。 |

## ⚠警告 電池について

| | |
|---|---|
| 警告 | 電池に表示された警告・注意を守ること<br>液もれ、発熱、発火の原因となります。 |
| 警告 | 使用説明書に表示された電池を使用すること<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
| 警告 | 外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと<br>また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
| 保管注意 | 電池は幼児の手の届かないところに置くこと<br>幼児の飲み込みの原因となります。<br>万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。 |

# 安全上のご注意

| ⚠ 警告 電池について | | |
|---|---|---|
|  | 水かけ禁止 | 水につけたり、濡らさないこと<br>液もれ、発熱の原因となります。 |

| ⚠ 警告 ニッケル水素充電池について | | |
|---|---|---|
|  | 使用禁止 | 変色・変形、その他、今までと異なることに気づいたときは使用しないこと<br>液もれ、発熱の原因となります。 |
| ⚠ | 警告 | 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること<br>液もれ、発熱の原因となります。 |
| ⚠ | 警告 | 電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること<br>他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って、正しく廃棄してください。 |

| ⚠ 警告 リチウム電池、アルカリ電池について | | |
|---|---|---|
|  | 禁止 | 電池を火に入れたり、加熱しないこと<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|  | 分解禁止 | 電池をショート、分解しないこと<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|  | 禁止 | 新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|  | 警告 | 電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |

| ⚠警 告 リチウム電池、アルカリ電池について | | |
|---|---|---|
|  | 禁止 | **充電式電池以外は、充電しないこと**<br>液もれ、発熱の原因となります。 |
|  | 警告 | **電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること**<br>他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って、正しく廃棄してください。 |

| ⚠警 告 アルカリ電池について | | |
|---|---|---|
|  | 電池を取る | **使い切った電池はすぐに器具から取り出すこと**<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |
|  | 警告 | **電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと**<br>そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。 |

| ⚠注 意 電池について | | |
|---|---|---|
|  | 注意 | **連続発光後は電池の発熱に注意すること**<br>電池が発熱していて、やけどの原因となります。電池を交換する際には、注意してください。 |

| ⚠注 意 ニッケル水素充電池について | | |
|---|---|---|
|  | 注意 | **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと**<br>液もれ、発熱、破裂の原因となります。 |

# ご確認ください

## 保証書について

本製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

## カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

## カスタマーサポート

下記のホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

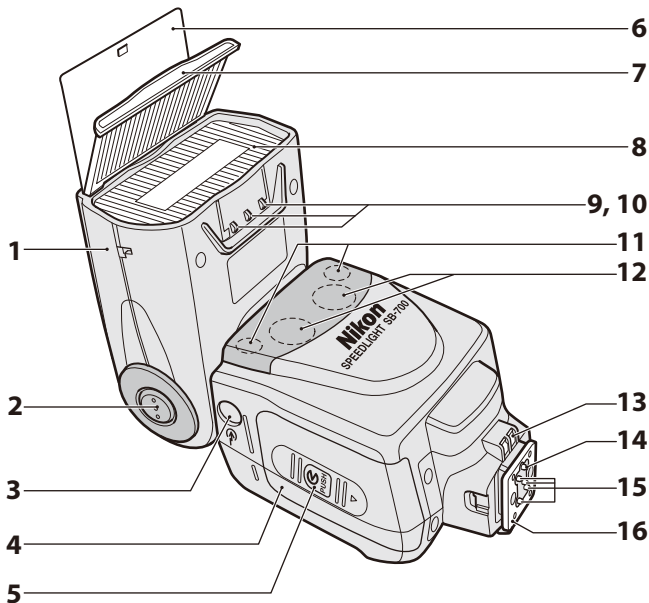
## 大切な撮影の前には試し撮りを

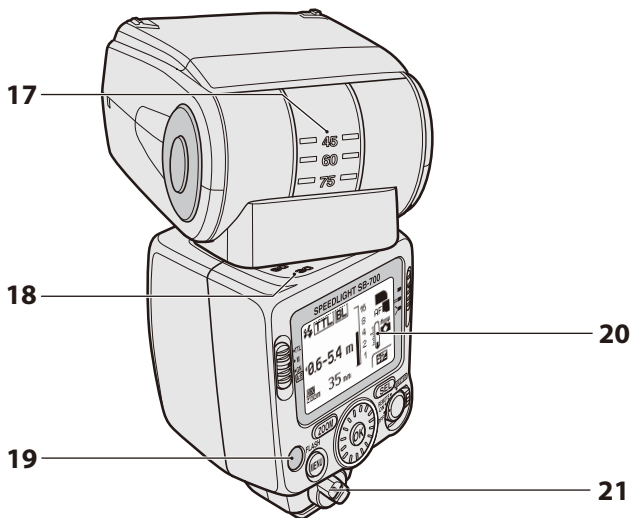
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてスピードライトが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

## 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のカメラ及びアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、本製品の充分な性能が発揮できないほか、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

# 各部の名称

1. フラッシュヘッド
2. フラッシュヘッドロック解除ボタン（🕮E-5）
3. ワイヤレスリモートセンサー窓（🕮D-21）
4. 電池ぶた
5. 電池ぶたロック解除ボタン（🕮B-5）
6. キャッチライト反射板（🕮E-10）
7. ワイドパネル（🕮E-12）
8. 発光パネル
9. カラーフィルター検出スイッチ
10. バウンスアダプター検出スイッチ
11. レディーライト（リモートモード時）（🕮D-24）
12. AF補助光（🕮E-23）
13. 外部AF補助光接点（🕮H-13）
14. ロックピン
15. カメラ連動接点
16. 取付け脚

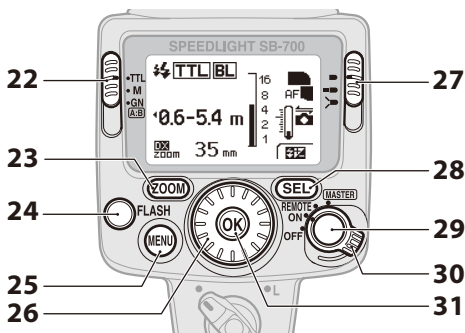
# 各部の名称



**17.** **フラッシュヘッド上下回転角度目盛**（□E-5）

**18.** **フラッシュヘッド左右回転角度目盛**（□E-5）

**19.** **レディーライト**（□B-11、D-24）

**20.** **表示パネル**（□B-12、H-10）

**21.** **ロックレバー**（□B-8）

**22.** モードセレクター
発光モードを切り換えます。

**23.** ［ZOOM］ボタン
照射角を切り換えます。（□E-22）

**24.** テスト発光ボタン
テスト発光ができます。（□E-25）

**25.** ［MENU］ボタン
カスタムメニュー画面を表示します。（□B-13）

**26.** セレクターダイヤル
反転表示された項目の設定を変更します。（□B-12）

**27.** 配光タイプセレクター
配光タイプを切り換えます。（□E-2）

**28.** ［SEL］ボタン
設定する項目を選択します。（□B-12）

**29.** ロック解除ボタン
ワイヤレス増灯モードのマスターモード/リモートモードを設定する際は、このボタンを押しながらスイッチを回します。（□D-6、D-8）

**30.** 電源スイッチ/ワイヤレス増灯モードスイッチ
- 電源のON/OFFを設定します。
- ワイヤレス増灯撮影時のマスターモード/リモートモードを設定します。（□D-6、D-8）

**31.** ［OK］ボタン
選択した設定を確定します。（□B-12）

# 撮影の基本ステップ

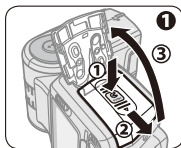
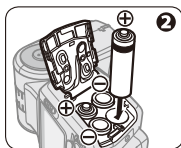
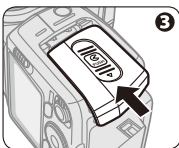
SB-700とCLS対応カメラとの組み合わせ時の、i-TTL調光モードを使った撮影の基本的なステップを説明しています。

## ☑ 連続発光についてのご注意

- 発光部が過熱するのを防ぐため、連続発光は15回でいったん発光を止めて、発光部を10分以上、自然冷却してください。
- 連続発光を断続的に繰り返した場合は、内部の安全機構が働き、発光間隔が最大で15秒程度まで長くなることがあります。この状態からさらに連続発光を行うと、「高温検出警告画面」に変わり、一時的にすべての操作ができなくなります（☞E-27）。この場合は数分間、発光を止めると警告画面が消えて、通常の操作ができます。
- 安全機構が作動するまでの時間は、周囲温度やSB-700の発光量によって異なります。

B

操作方法

## ステップ1 電池を入れる

❶電池ぶたロック解除ボタンを押しながら、電池ぶたをスライドさせて開ける

❷＋－表示の向きに電池を入れる。

❸電池ぶたを押さえながら、スライドさせて閉じる

## 使用できる電池

次の同じ種類の単3形電池4本を使います。交換の際は、4本とも新品電池をお使いください。

- 1.5V アルカリ単 3 形電池
- 1.5V リチウム単 3 形電池
- 1.2V ニッケル水素単 3 形充電池

- 使用電池別の最短発光間隔、発光回数等については「仕様」をご覧ください。（□H-24）
- アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なることがあります。
- 1.5Vマンガン単3形電池のご使用はおすすめしません。

## 電池についてのご注意

- 「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（□A-18～A-21）の注意事項をお守りください。
- 「電池についてのご注意」（□H-9）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- リチウム単3形電池は発熱時に出力電流を抑える機能を備えているため、連続発光すると発光間隔が長くなることがあります。

## 電池交換の目安

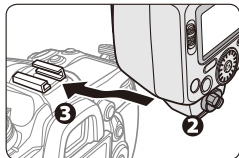
電源ONや発光後、レディーライト点灯までの時間が次のように遅くなったら、早めに新しい電池に交換または充電してください。

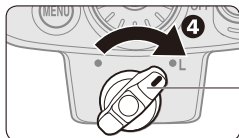
| 1.5V アルカリ単 3 形電池 | 10 秒以上 |
|---|---|
| 1.5V リチウム単 3 形電池 | 10 秒以上 |
| 1.2V ニッケル水素単 3 形充電池 | 10 秒以上 |

## 電池容量不足画面

電池容量が不足すると、表示パネルが左の画面に変わり、すべての動作が停止します。新しい電池に交換または充電してください。

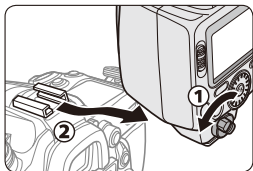
## ステップ2 カメラに取り付ける

**❶SB-700およびカメラの電源OFFを確認する**

**❷ロックレバーが左（白丸）にあることを確認する**

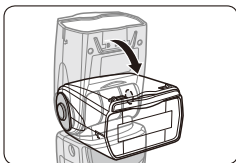
**❸取付け脚をアクセサリーシューに差し込み、奥まで押し込む**

**❹ロックレバーを右にLの位置まで回す**

### ☑ ロックの確認

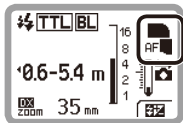
ロックレバーが止まり、ロック機構の指標が合っていることを確認してください。

## カメラからの取外し方

❶ SB-700およびカメラの電源をOFFにしてから、ロックレバーを左に90°回し、取付け脚をゆっくり引き抜く

- 取付け脚が引き抜けない場合は、もう一度、ロックレバーを左にいっぱいまで回してからゆっくり引き抜いてください。
- 無理に引き抜かないでください。

## ステップ3 フラッシュヘッドを設定する

❶ フラッシュヘッドを正面に設定する

- フラッシュヘッドは正面でロックされます。

### フラッシュヘッドの状態表示

正面に設定されている。

フラッシュヘッドが正面以外に設定されている。（上方、左右バウンス表示）

フラッシュヘッドが下方向に設定されている。（下方バウンス表示）

## ステップ4 電源を ON にする

❶ SB-700およびカメラの電源をONにする

## 画面表示例

- 次の画面は、i-TTL 調光モード、DX フォーマット、スタンダード配光、ISO感度100、照射角35mm、絞り値F5.6の場合の表示例です。
- 表示は、SB-700の設定や使用するカメラ、レンズによって異なります。

SB-700の発光に関する表示

SB-700の状態を表示

発光モード

TTL BL

調光範囲

0.6-5.4 m

16 8 4 2 1

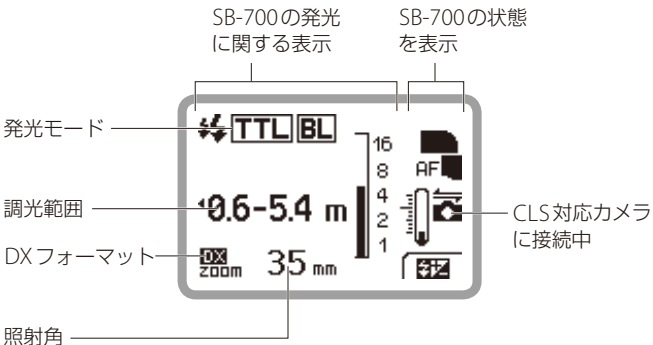
AF

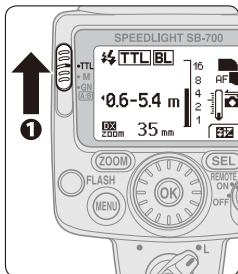
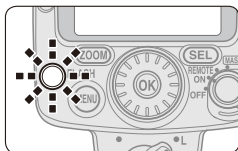
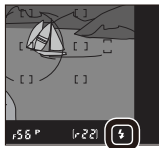
CLS対応カメラに接続中

DX フォーマット

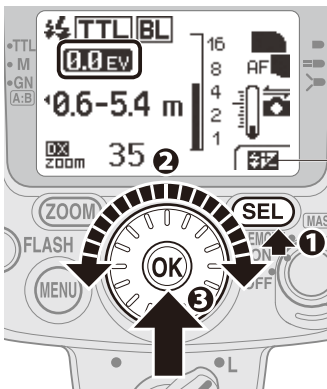
DX ZOOM

35 mm

照射角

B 操作方法

## ステップ5 発光モードを設定し、撮影する

❶モードセレクターを［TTL］に合わせる

❷SB-700またはカメラのファインダー内のレディーライトの点灯を確認して、撮影する

# 設定と表示について

表示パネルのアイコンは各種設定状態を表わし、発光モードや設定状態によって異なります。

- ［SEL］ボタンを押すと、設定や変更ができる項目が反転表示に変わります。
- 反転表示された内容は、セレクターダイヤルで設定や変更ができます。
- 各種設定は、基本的に次の方法で変更できます。



- ［SEL］ボタンを押すと設定や変更ができる項目です。設定や変更ができる項目が2つ以上あるときは「SEL」が表示されます。

### ❶［SEL］ボタンを押して、変更したい項目を反転表示させる

### ❷ セレクターダイヤルを回して、設定を選択する

### ❸［OK］ボタンを押して、設定を確定する

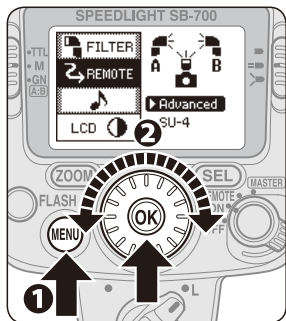
- 確定した項目が通常の表示に戻ります。
- ［OK］ボタンを押さない場合は、約8秒が経過すると設定が確定します。

# カスタムメニューについて

表示パネルで確認しながら、各種の設定ができます。

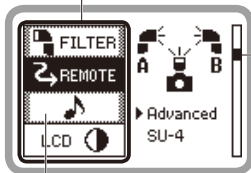
- 表示されるアイコンは、組み合わせるカメラやSB-700の設定によって異なります。
- 網目の枠の項目は、設定しても設定内容が反映されない状態であることを示しています。

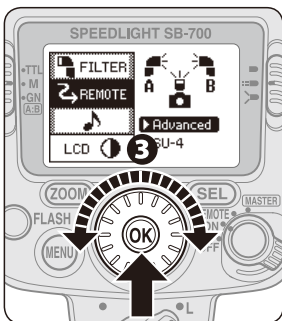


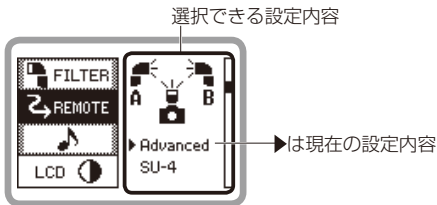
## カスタムメニュの一設定方法

❶［MENU］ボタンを押して、カスタムメニュー画面にする

❷セレクターダイヤルを回して設定したい項目を選び、［OK］ボタンを押す

- 反転表示の項目が設定できます。設定中は反転表示されます。

カスタムメニュー項目

反転表示の設定項目の位置（全11項目中の位置）。設定操作中は表示されません。

設定が反映されない項目は網目の枠になります。

### ❸ セレクターダイヤルで設定内容を選び、[OK] ボタンを押す

- 選択中は反転表示されます。
- ［OK］ ボタンを押すと、項目選択画面に戻ります。



### ❹ ［MENU］ ボタンを押して、カスタムメニューを終了する

- 通常の表示に戻ります。

## カスタムメニュー項目の詳細

・太字は初期設定です。

| | |
|---|---|
| FILTER | **カラーフィルターの設定**（🕮E-17）<br>着色用フィルターのカラーを設定します。 |
| ▶RED<br>BLUE<br>YELLOW<br>AMBER<br>OTHER | **RED：赤**<br>BLUE：青<br>YELLOW：黄<br>AMBER：肌色<br>OTHER：その他（上の4色以外のカラーフィルターを使用する場合） |

| | |
|---|---|
| REMOTE | **リモートフラッシュ（補助灯）の設定**（🕮D-1、D-17） |
| ▶Advanced<br>SU-4 | **Advanced：アドバンストワイヤレスライティング**<br>SU-4：SU-4タイプのワイヤレス増灯 |

| | |
|---|---|
| ♪ | **サウンドモニターの設定**（🕮D-24）<br>ワイヤレス増灯撮影でのリモートモード時のサウンドモニターを設定します。 |
| ▶ON<br>OFF | **ON：鳴る**<br>OFF：鳴らない |

| | |
|---|---|
| LCD ◐ | **表示パネルのコントラストの設定**（□H-10）<br>設定できるコントラストは9段階で、グラフで表示します。 |
| | **9段階の5段目** |

| | |
|---|---|
| STBY | **スタンバイ機能の設定**（□E-26）<br>自動的に待機（スタンバイ）状態になるまでの時間を設定します。 |
| AUTO<br>40<br>--- | **AUTO：カメラの半押しタイマーと連動**<br>40：40秒<br>---：スタンバイ機能解除 |

| | |
|---|---|
| FX/DX | **FX/DXフォーマットの設定**（□A-6）<br>照射角のマニュアル設定時のFX/DXフォーマットを設定します。 |
| FX⇔DX<br>FX<br>DX | **FX↔DX：カメラに合わせて自動切り換え**<br>FX ：FXフォーマット（36×24）<br>DX：DXフォーマット（24×16） |

| | |
|---|---|
| M | **マニュアル発光量のステップ幅の設定**（□C-9）<br>マニュアル発光モード時の発光量M 1/1と1/2の間のステップ幅を設定します。 |
| 1/3 EV<br>1 EV | 1/3EV：1/3段刻みで変化<br>**1EV：1段変化** |

B

操作方法

| m/ft | **距離表示単位の設定** |
|---|---|
| ▶m<br>ft | **m：メートル**<br>ft：フィート |

| AF | **AF 補助光の設定**（□E-24） |
|---|---|
| ▶ON<br>OFF | **ON：AF 補助光を照射**<br>OFF：AF 補助光の照射禁止 |

| VER. | **ファームウェアバージョン表示**（□H-11） |
|---|---|
| 6.XXX | |

| RESET | **カスタムメニューリセットの設定**<br>カスタムメニュー項目の初期設定へのリセットを実行します。（「距離表示単位の設定」、「カラーフィルターの設定」、「ファームウェアバージョン表示」を除く） |
|---|---|
| YES<br>NO | YES：初期設定にリセット<br>**NO：リセットしない** |

# i-TTL調光モード

モニター発光を行って被写体からの反射光をカメラで測光して、カメラがスピードライトの発光量を制御する調光方式です。

- i-TTL調光モードでの撮影手順は、「撮影の基本ステップ」をご覧ください。(□B-5)
- i-TTL調光モードは、装着したカメラの設定によってBL（バランス）調光またはスタンダード調光になります。SB-700で選択することはできません。

## i-TTL-BL調光

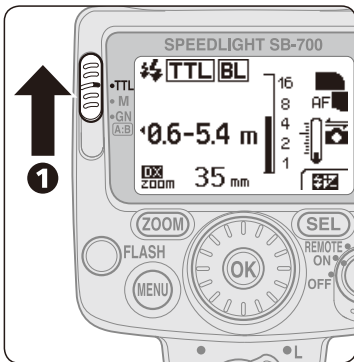
被写体と背景光のバランスを考慮して発光量を制御する、バランス調光を行います。TTL BLが表示されます。

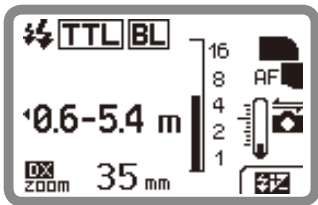
## スタンダードi-TTL調光

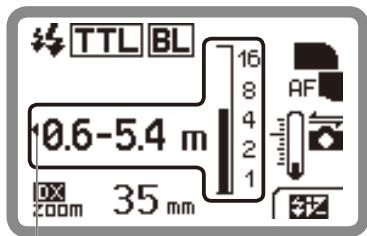
背景光を考慮せず、主要被写体が基準露光量になるように発光量を制御します。主要な被写体を強調した撮影に最適です。TTLが表示されます。

## カメラの測光モードとi-TTL調光モードについて

- i-TTL-BL 調光時にカメラの測光モードをスポット測光に切り換えると、自動的にスタンダードi-TTL 調光に切り替ります。
- スポット測光からマルチパターン測光、中央部重点測光に戻すと、i-TTL-BL 調光に戻ります。

## i-TTL 調光モードの設定方法

❶ モードセレクターを［TTL］に合わせる

### i-TTL 調光モード時の表示例

- ：モニター発光を行います。
- TTL：i-TTL 調光を行います。
- BL：バランス調光を行います。

## i-TTL 調光モード時の調光範囲

近距離側の調光限界

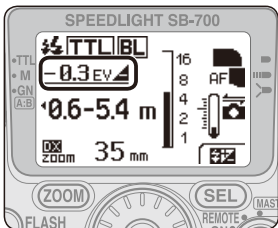
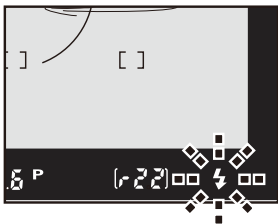
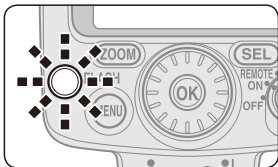
調光範囲は数字とインジケーターで表示されます。

- スピードライトから被写体までの距離は、調光範囲内に設定してください。
- 調光範囲はFX/DXフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、絞り値によって異なります。詳細は「仕様」をご覧ください。（□H-17）

### ISO感度、絞り値、焦点距離の自動設定

CLS対応カメラ、CPUレンズとの組み合わせ時は、ISO感度、絞り値、焦点距離などのカメラやレンズの情報はSB-700に自動的に設定されます。

- ISO感度連動範囲の詳細は、カメラの使用説明書をご覧ください。

## 光量不足警告が出たら

・発光直後にカメラのファインダー内およびSB-700のレディーライトが約3秒間点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。

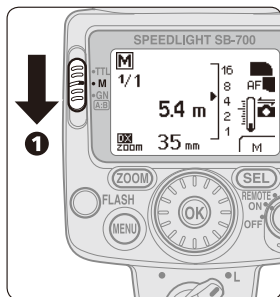
・スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。

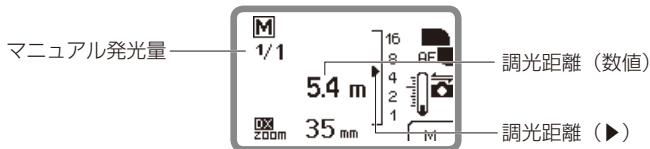
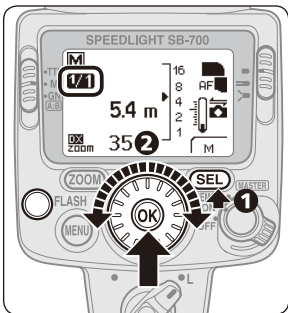
・TTL調光アンダー表示と、光量不足量の目安となるアンダー量が、約3秒間表示されます。（表示範囲：－0.3EV～－3.0EV）

# マニュアル発光モード

任意の絞り値と発光量の組み合わせで、スピードライトから被写体までの距離や露出を撮影者が設定できます。

- 発光量はM 1/1（フル発光）からM 1/128の微少発光まで、撮影意図に合わせて設定できます。
- マニュアル発光モードでは、撮影後の光量不足警告は行われません。

## マニュアル発光モードの設定方法

❶ モードセレクターを [M] に合わせる

### マニュアル発光モード時の表示例

## マニュアル発光モードの撮影手順

❶［SEL］ボタンを押して、発光量表示を反転させる

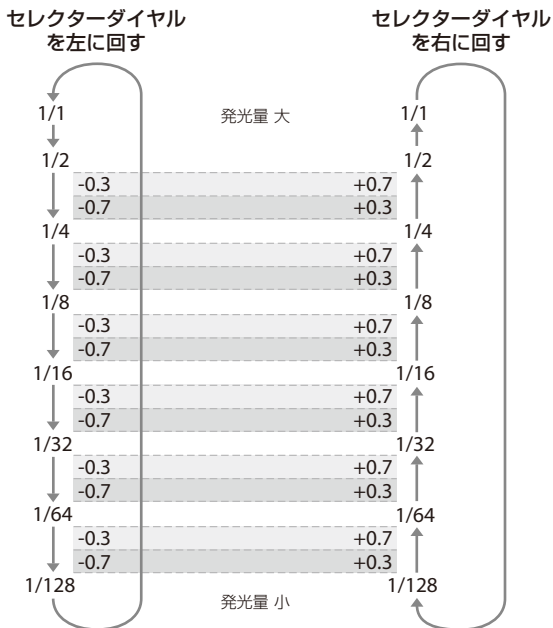
❷セレクターダイヤルを回して発光量を設定し、［OK］ボタンを押す

- 発光量は［SEL］ボタンを押しても変更できます。
- スピードライトから被写体までの距離は、表示された調光距離に合わせてください。

❸レディーライトの点灯を確認して、撮影する

# マニュアル発光モード

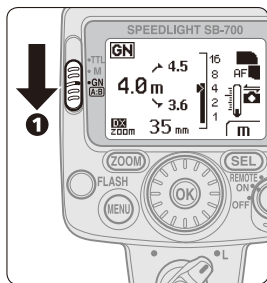
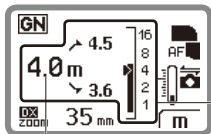
## ■ マニュアル発光モード時の発光量の設定方法

発光量表示が反転しているときにセレクターダイヤルを回すと発光量が変化します。

- 左図のように、セレクターダイヤルを左に回すと分母が大きく（発光量が小さく）なり、右に回すと分母が小さく（発光量が大きく）なります。
- 発光量は1/3段ずつ変化します（1/1と1/2の間を除く）。従って、1/32－0.3と1/64＋0.7は同じ発光量を意味します。
- M 1/1と1/2の間のステップ幅は、初期設定では1段ですが、カスタムメニューで1/3段に設定できます（□B-16）。ご使用のカメラによっては、シャッタースピードを速くすると M1/2以上の光量がM1/2と同程度まで小さくなることがあります。

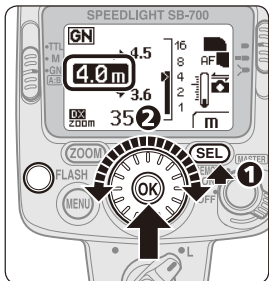
# 距離優先マニュアル発光モード

スピードライトから被写体までの距離を設定すれば、カメラの設定に合わせて適正な発光量をスピードライトが自動的に設定するマニュアル発光です。

## 距離優先マニュアル発光モードの設定方法

❶ モードセレクターを［GN］に合わせる

### 距離優先マニュアル発光モード時の表示例（スピードライトから被写体までの距離が4mの場合）

設定した距離（▶）と調光範囲（インジケーター）
設定した距離が調光範囲内にあれば、適切な露光量が得られます。

距離（数値）

## 距離優先マニュアル発光モードの撮影手順

❶［SEL］ボタンを押して、距離表示を反転させる

❷セレクターダイヤルを回して距離を設定し、[OK] ボタンを押す

- 距離は［SEL］ボタンを押しても変更できます。
- 設定可能な距離は0.3m～20mで、ISO感度によって異なります。
- 設定した距離が調光範囲内にあれば、適切な露光量が得られます。

❸レディーライトの点灯を確認して、撮影する

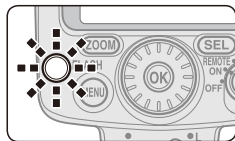
### バウンス警告が出たら

- 距離優先マニュアル発光モードは、フラッシュヘッドが上方向または左右方向に設定されていると設定できません。
- 下の警告表示が出ます。
- フラッシュヘッドを正面または下方向に設定するか、i-TTL調光モードに設定してください。

# 距離優先マニュアル発光モード

## 距離優先マニュアル発光モード時の設定可能な距離

- 設定可能な距離は0.3m～20mです。
- スピードライトから被写体までの距離が距離表示と異なる場合は、近距離側の数値に設定してください。例えば、スピードライトから被写体までの距離が2.7mの場合は、2.5mに設定します。

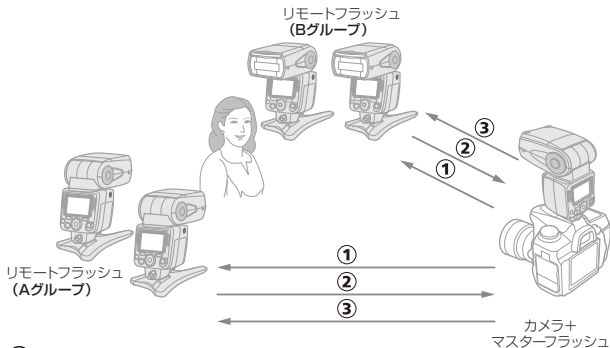
### ☑ 光量不足警告が出たら

- 発光直後にカメラのファインダー内およびSB-700のレディーライトが約3秒間点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。
- 絞り値を開放側にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。

# SB-700のワイヤレス増灯の仕組み

SB-700では、「アドバンスト」と「SU-4タイプ」の2つのワイヤレス増灯撮影ができます。

- 初期設定はアドバンストワイヤレスライティング撮影に設定されています。一般的な増灯撮影にはアドバンストワイヤレスライティング撮影をおすすめします。

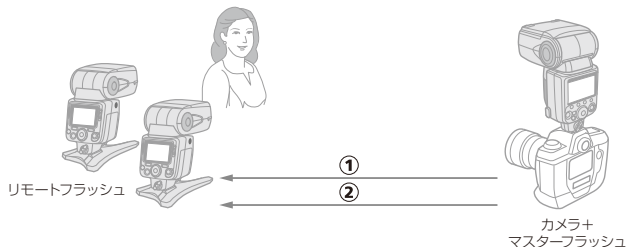
# SB-700のワイヤレス増灯の仕組み

## アドバンストワイヤレスライティング撮影

① モニター発光を指示

② 反射光をカメラが測光

③ カメラが発光を制御

- マスターフラッシュ（主灯）は、カメラに装着したSB-700（1台のみ）です。
- SB-700は、リモートフラッシュ（補助灯）のグループは最大2つ（A、B）を設定できます。
- リモートフラッシュの1グループは1台または複数のスピードライトで設定できます。
- マスターフラッシュとリモートフラッシュの発光モードは、マスターフラッシュで設定したモードになります。

## SU-4タイプのワイヤレス増灯

① 発光開始に連動して発光（AUTOモード時/Mモード時）

② 発光停止に連動して発光停止（AUTOモード時）

- マスターフラッシュ（主灯）は、カメラに装着したスピードライトまたはカメラの内蔵フラッシュが使用できます。
- SB-700はリモートフラッシュ（補助灯）としてのみ使用できます。
- マスターフラッシュは必ずモニター発光を解除するか、モニター発光しない発光モードに設定してください。
- リモートフラッシュの発光モードは、リモートフラッシュ側で設定します。リモートフラッシュ同士は同じ発光モードに設定してください。

# SB-700 のワイヤレス増灯撮影機能

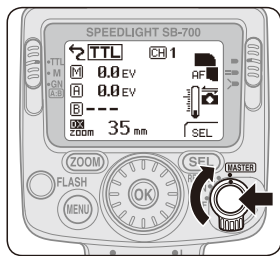
| | | マスターモード時 MASTER | リモートモード時 REMOTE |
|---|---|---|---|
| アドバンストワイヤレスライティング撮影 | 発光モード設定 | • i-TTL 調光モード **TTL**<br>• マニュアル発光モード **M**<br>• クイックワイヤレスコントロールモード **A:B** | マスターフラッシュで設定した発光モード |
| | リピーティングフラッシュ撮影＊1 | 設定不可 | 使用可能 |
| | グループ | 2 グループ（A、B） | 最大 3 グループ（A、B、C） |
| | チャンネル＊2 | 4 チャンネル（1 ～ 4） | 4 チャンネル（1 ～ 4） |
| SU-4 タイプのワイヤレス増灯撮影 | | 設定不可 | 使用可能（AUTO、M、OFF） |

＊1 リピーティングフラッシュ撮影の詳細は、マスターフラッシュとして使用するスピードライトSB-900、SB-800、コマンダーSU-800の使用説明書をご覧ください。

＊2 4つのチャンネルから1つを使用します。複数の人がアドバンストワイヤレスライティング撮影を行っているときは、誤発光を防止するため、他の人とは異なるチャンネルに設定してください。

## ✔ マスターフラッシュの「発光なし」について

マスターフラッシュの発光モードを「発光なし」に設定して、リモートフラッシュのみで撮影する場合でも、マスターフラッシュは少光量発光します。この少光量発光による露出への影響はほとんどありませんが、ISO感度を高感度にして近距離撮影すると被写体露出に影響を与える場合があります。この場合は、影響がなくなるまでマスターフラッシュのフラッシュヘッドを上方向にバウンス調節してください。

# マスターフラッシュとしての設定

❶ ワイヤレス増灯モードスイッチの指標を［MASTER］に合わせる

- ワイヤレス増灯モードスイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

## マスターモード設定時の表示例（i-TTL 調光モード時）

マスターモード

マスターフラッシュの発光モード

TTL　CH 1

チャンネル

M 0.0 EV

A 0.0 EV

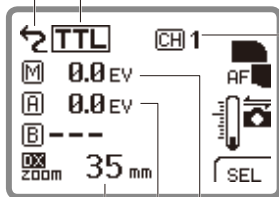
B ---

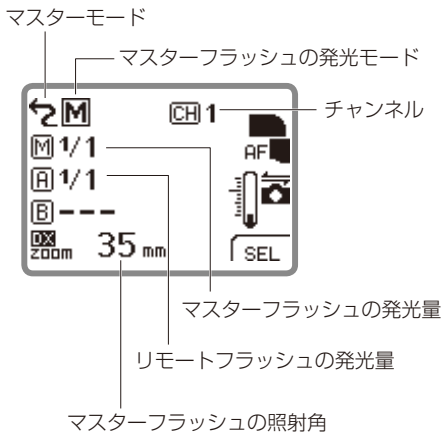
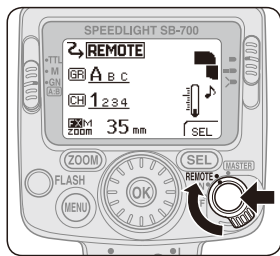
AF

DX zoom 35 mm

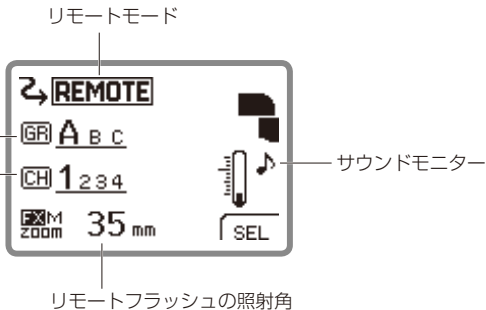
SEL

マスターフラッシュの調光補正値

リモートフラッシュの調光補正値

マスターフラッシュの照射角

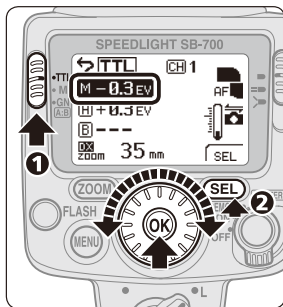
## マスターモード設定時の表示例（マニュアル発光モード時）

# リモートフラッシュとしての設定

❶ ワイヤレス増灯モードスイッチの指標を [REMOTE] に合わせる

・ワイヤレス増灯モードスイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

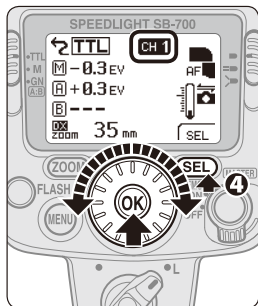
## リモートモード設定時の表示例（アドバンストワイヤレスライティング時）

# アドバンストワイヤレスライティング撮影の手順

## 撮影の手順

### 1. マスターフラッシュで発光モード、調光補正値、チャンネルを設定する

**[i-TTL 調光モード、チャンネル1の設定例]**

❶ マスターフラッシュのモードセレクターを［TTL］に合わせる
- マニュアル発光モードに設定する場合は［M］に合わせます。

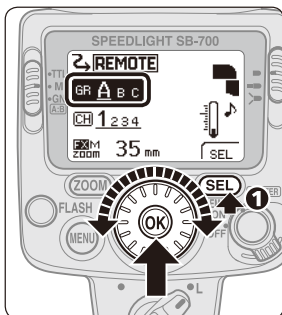
❷［SEL］ボタンを押してマスターフラッシュを選び、セレクターダイヤルで調光補正値を設定し、［OK］ボタンを押す
- マニュアル発光モード時は、発光量を設定します。

❸ 手順❷に準じて、リモートフラッシュ（グループA、B）の調光補正値を設定する
- マニュアル発光モード時は、発光量を設定します。

❹ ［SEL］ボタンを押してチャンネルを反転表示させ、セレクターダイヤルで［CH1］を選択し、［OK］ボタンを押す

## 「発光なし」に設定するには

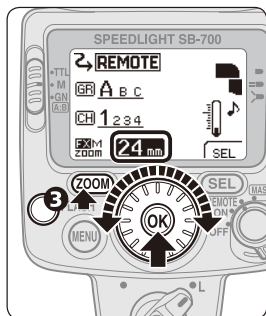
- i-TTL 調光モード時は、調光補正値を反転表示させてセレクターダイヤルを左に回すと、－3.0EVの次が［---］(発光なし)になります。
- マニュアル発光モード時は、発光量を反転表示させてセレクターダイヤルを回すと、1/128と1/1の間が［---］(発光なし)になります。

## 2. リモートフラッシュのグループ、チャンネル、照射角を設定する

**[グループA、チャンネル1の設定例]**

❶ リモートフラッシュの［SEL］ボタンを押してグループを反転表示させ、セレクターダイヤルで[A]を選択し、［OK］ボタンを押す

- 設定中のグループ、チャンネルが大きく表示されます。

❷［SEL］ボタンを押してチャンネルを反転表示させ、セレクターダイヤルで[1]を選択し、［OK］ボタンを押す。

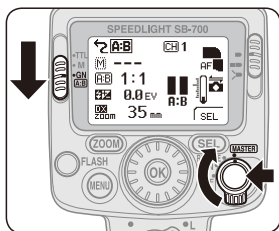
- 必ず、マスターフラッシュと同じチャンネルに設定してください。

❸［ZOOM］ボタンを押して照射角を反転表示させ、セレクターダイヤルで照射角を選択し、［OK］ボタンを押す

❹レディーライトの点灯を確認して、撮影する

# クイックワイヤレスコントロールモード撮影の手順

クイックワイヤレスコントロールモードでは、A、Bの2つのリモートフラッシュグループの光量比を簡単に設定できます

- クイックワイヤレスコントロールモード時は、マスターフラッシュは発光しません。

## クイックワイヤレスコントロールモードの設定方法

**❶ ワイヤレス増灯モードスイッチの指標を［MASTER］に合わせ、モードセレクターを［A:B］に合わせる**

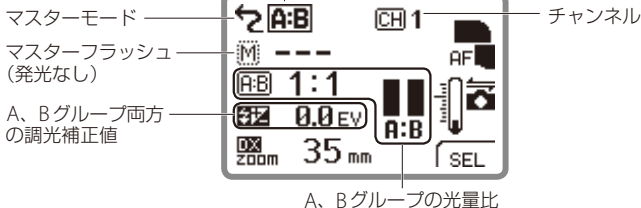
- ワイヤレス増灯モードスイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

### クイックワイヤレスコントロールモード時の表示例

クイックワイヤレスコントロールモード

マスターモード

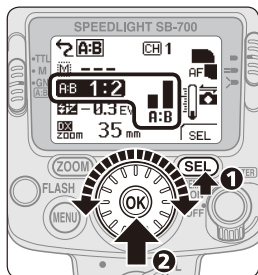
マスターフラッシュ（発光なし）

A、Bグループ両方の調光補正値

チャンネル

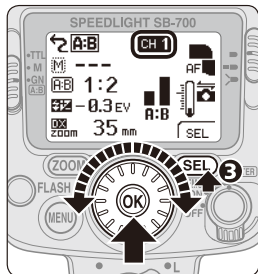
A、Bグループの光量比

## 撮影の手順

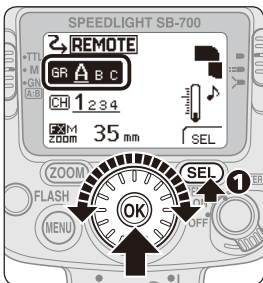
### 1. マスターフラッシュで光量比、調光補正値、チャンネルを設定する

［光量比1：2、チャンネル1の設定例］

❶［SEL］ボタンを押して、A、Bグループの光量比表示を反転させる

❷セレクターダイヤルで光量比[1：2]を設定し、［OK］ボタンを押す

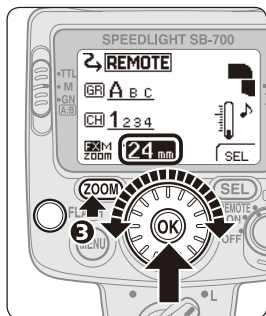
- 光量比は8:1〜1:8に設定できます。
- AまたはBの発光を禁止することもできます。
- 必要に応じて調光補正値を設定してください。

❸［SEL］ボタンを押してチャンネルを反転表示させ、セレクターダイヤルで[CH1]を選択し、［OK］ボタンを押す

## 2. リモートフラッシュのグループ、チャンネル、照射角を設定する

### [グループA、チャンネル1の設定例]

❶ リモートフラッシュの［SEL］ボタンを押してグループを反転表示させ、セレクターダイヤルで[A]を選択し、［OK］ボタンを押す

- AまたはBグループに設定してください。
- 設定中のグループ、チャンネルが大きく表示されます。

❷［SEL］ボタンを押してチャンネルを反転表示させ、セレクターダイヤルで[1]を選択し、［OK］ボタンを押す。

- 必ず、マスターフラッシュと同じチャンネルに設定してください。

❸ [ZOOM] ボタンを押して照射角を反転表示させ、セレクターダイヤルで照射角を選択し、[OK] ボタンを押す

❹ レディーライトの点灯を確認して、撮影する

# SU-4 タイプのワイヤレス増灯の設定

動きが速い被写体の増灯撮影には、SU-4タイプのワイヤレス増灯撮影が適しています。

・SB-700はリモートフラッシュとしてのみ使用できます。

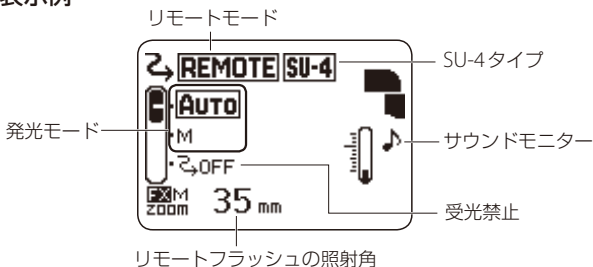
## SU-4タイプのワイヤレス増灯の設定方法

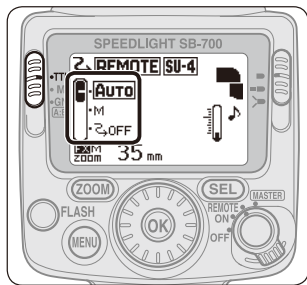
### ❶ カスタムメニューで「SU-4タイプのワイヤレス増灯」を設定します。

・設定方法は「カスタムメニューについて」をご覧ください。(🕮B-15)

### ❷ ワイヤレス増灯モードスイッチの指標を[REMOTE]に合わせます。

・ワイヤレス増灯モードスイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

**表示例**

## リモートフラッシュの発光モード

発光モードは、AUTO（オート）、M（マニュアル）、OFF（受光禁止）の3つがあります。

発光モードは、モードセレクターで選択します。

- [TTL]に合わせるとAUTO（オート）、[M]に合わせるとM（マニュアル）、[GN]に合わせるとOFF（受光禁止）になります。

### AUTO（オートモード）：

- マスターフラッシュの発光開始と発光停止に連動して、リモートフラッシュも発光開始と発光停止を行います。
- マスターフラッシュとリモートフラッシュの発光量を合わせた調光ができます。
- マスターフラッシュの発光開始と発光停止を感知できる距離は、マスターフラッシュの対向正面で約7m以内です。

### M（マニュアルモード）：

- マスターフラッシュの発光開始に連動して、リモートフラッシュが発光を開始します。発光停止には連動しません。
- マスターフラッシュとリモートフラッシュの発光量を独立して設定できます。
- マスターフラッシュの発光開始を感知できる距離は、マスターフラッシュ対向正面で約40m以内です。
- 発光量はM 1/1～M 1/128に設定できます。

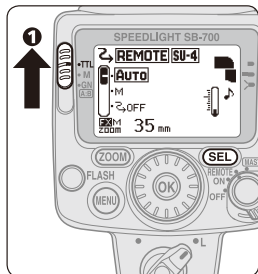
### OFF（受光禁止）：

- マスターフラッシュが発光しても、リモートフラッシュは発光しません。

## リモートフラッシュの誤発光を防止するには

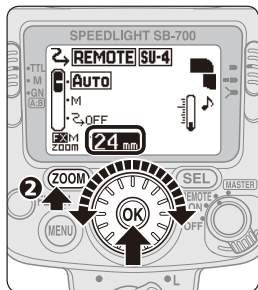
リモートフラッシュは、静電気や周囲の電磁波ノイズによって発光する場合があるので、使用しないときは、必ず電源スイッチで電源をOFFにしてください。

## リモートフラッシュの設定手順

### [AUTO モードの設定例 ]

❶ モードセレクターを[TTL]に合わせる

❷ [ZOOM］ボタンを押して照射角を反転表示させ、セレクターダイヤルで照射角を選択し、[OK］ボタンを押す

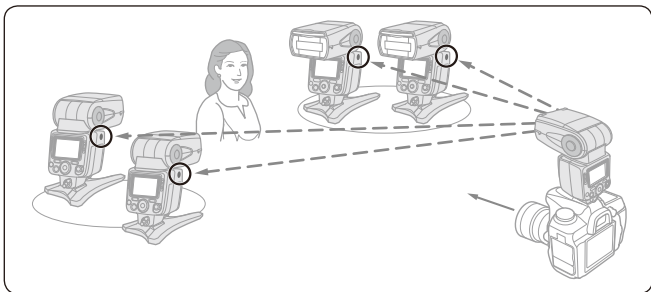
#### Mモード時は発光量を設定する

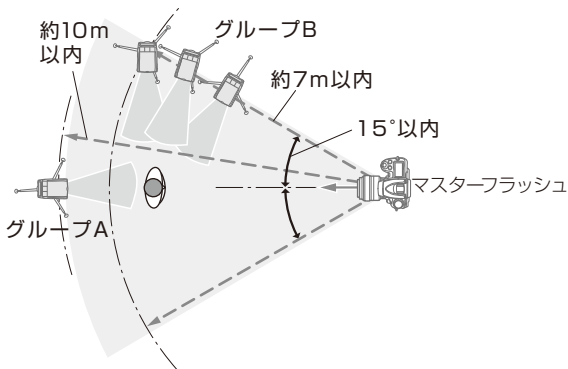
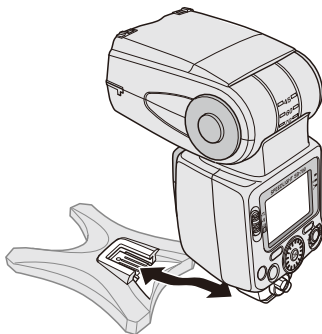
Mモード時は［SEL］ボタンを押して発光量を設定してください。

# リモートフラッシュについて

## リモートフラッシュの設定について

- SB-700、SB-900、SB-800、SB-600、SB-R200はリモートモードに設定するとスタンバイ機能が解除されます。電池の消耗に注意してください。
- リモートフラッシュの照射角は、狙いがはずれても被写体に光が充分に当たるように、撮影画角より広めに設定します。特に、被写体に近い場合は、より広くする必要があります。

## リモートフラッシュの配置について

- リモートフラッシュは、マスターフラッシュの光がワイヤレスリモートセンサー窓に入る位置（通常はカメラより被写体に近い位置）に置きます。特に、手持ちで撮影する場合、マスターフラッシュの光が確実にワイヤレスリモートセンサー窓に入るように、リモートフラッシュはカメラより前に配置してください。

## リモートフラッシュについて

- マスターフラッシュとリモートフラッシュの距離は、マスターフラッシュの対向正面で約10ｍまで、両サイドで約7ｍまでが目安です（アドバンストワイヤレスライティング撮影時）。ただし、周囲の照明環境により、この距離は多少変化します。
- 同時に使用できるリモートフラッシュの台数に制限はありません。しかし、撮影環境によっては他のスピードライトの発光の影響を受けることがあるため、3台程度が実用的です。アドバンストワイヤレスライティング撮影の場合は、1グループ最大3台程度を目安にしてください。
- 同じグループのリモートフラッシュは一ヵ所にまとめ、同じ方向に向けてください。

- マスターフラッシュとリモートフラッシュの間に障害物があると、正常な交信ができません。
- リモートフラッシュの光が、カメラの撮影レンズに入らないようにしてください。
- 付属のスピードライトスタンドAS-22を使用すると、リモートフラッシュを安定して設置できます。スピードライトの取り付け、取り外しは、アクセサリーシューと同様に行ってください。

- 配置が終わったら、必ずマスターフラッシュのテスト発光ボタンを押して、リモートフラッシュが発光することを確認してください。
- 必ずリモートフラッシュのレディーライトの点灯を確認してから撮影してください。

# ワイヤレス増灯撮影時の状況確認について

ワイヤレス増灯撮影時、撮影前後のSB-700の状況は、レディーライトとモニター音で確認することができます。

- リモートフラッシュの状況を音で知るには、カスタムメニューでサウンドモニターONに設定します（📖B-15）。初期設定は、モニター音が鳴る設定です。

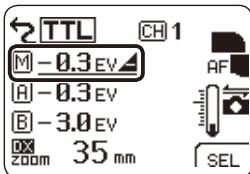
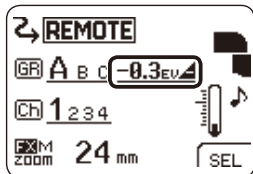
## レディーライトとモニター音による状況確認

| マスターフラッシュ | リモートフラッシュ | | 状　態 |
|---|---|---|---|
| レディーライト | レディーライト | サウンドモニター | |
| 点灯 | 後側が点灯、前側（リモートモード時）が点滅 | ピー（1 回） | 充電完了 |
| 消灯後、充電完了で点灯 | 後側が点灯、前側（リモートモード時）が点滅または消灯 | ピッピッ（2 回） | 正常発光 |
| 点滅（約 3 秒間） | 速い点滅（約 3 秒間） | ピーピーピー（約 3 秒間） | 光量不足警告*[1]<br>光量不足の可能性があります。スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、ISO 感度を上げるなどして、撮影し直してください。 |

D

ワイヤレス増灯撮影

| マスターフラッシュ | リモートフラッシュ | | 状態 |
|---|---|---|---|
| レディーライト | レディーライト | サウンドモニター | |
| 消灯後、充電完了で点灯 | 速い点滅（約 6 秒間） | ピーポー、ピーポー（約 6 秒間） | • マスターフラッシュで設定した発光モードが外部調光モードです。外部調光以外のモードに設定し直してください。<br>• リモートフラッシュが正常に信号を受信できませんでした。スピードライト自身の反射光や、他のリモートフラッシュの光が強く入ってマスターフラッシュの発光停止を検出できなかった可能性があります。リモートフラッシュの位置を変えて、撮影し直してください。 |

＊1 次の警告画面が表示されます。

マスターフラッシュ

リモートフラッシュ

# E 主な機能

SB-700の各種撮影機能や撮影をサポートする機能、カメラで設定する撮影機能を説明しています。

- カメラ側の機能や設定については、カメラの使用説明書をご覧ください。

<table>
<tr><td colspan="2">配光タイプ切り換え機能（□E-2）</td></tr>
<tr><td colspan="2">バウンス撮影（□E-4）</td></tr>
<tr><td colspan="2">近距離撮影（□E-11）</td></tr>
<tr><td>カラーフィルターを<br>使用した撮影<br>（□E-14）</td><td>色補正用カラーフィルター（付属品）<br>着色用カラーフィルター（別売）</td></tr>
<tr><td>撮影をサポートする機能<br>（□E-20）</td><td>調光補正<br>オートパワーズーム<br>AF 補助光<br>テスト発光<br>モデリング発光<br>スタンバイ<br>過熱防止</td></tr>
<tr><td>カメラ側の設定による<br>撮影機能（□E-28）</td><td>オート FP ハイスピードシンクロ撮影<br>FV ロック撮影<br>スローシンクロ（スローシャッター）撮影<br>赤目軽減発光撮影 / 赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影<br>後幕シンクロ撮影</td></tr>
</table>

# 配光タイプ切り換え機能

スピードライトの配光は、画面中央がいちばん明るく、周辺になるほど暗くなるのが一般的です。SB-700では、画面中央と周辺の光量差を制御する配光タイプを3種類備えており、撮影シーンに応じて選択できます。

## スタンダード配光

- 一般的なスピードライト撮影に適した、基本的な配光タイプです。

## 中央部重点配光

- スタンダード配光に比べて、画面周辺部の光量は落ちますが、中心部ではより大きなガイドナンバーが得られます。
- ポートレートなど、四隅の光量落ちを気にしない撮影に適しています。

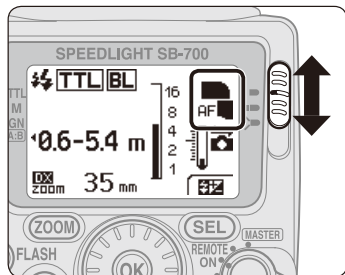
# 配光タイプ切り換え機能

## 均質配光

- 周辺部の光量落ちが、スタンダード配光よりさらに少ないタイプです。
- 集合写真など、画面の周辺部まで明るくしたい撮影に適しています。

## 配光タイプの設定方法

配光タイプセレクターで設定します。

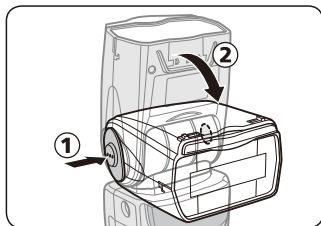
- 設定中の配光タイプはアイコンで表示されます。

# バウンス撮影

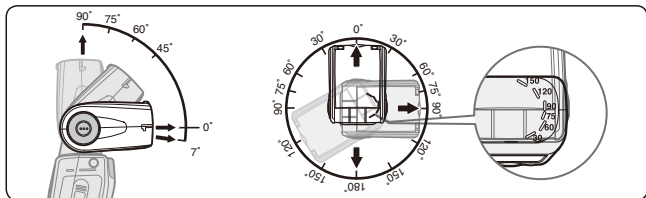
フラッシュヘッドを回転させて、天井などに反射させた光を利用する撮影をバウンス撮影といいます。被写体に正面からスピードライトの光を当てる場合に比べて、次のような効果があります。

- 近い被写体だけが白とびするのを軽減できます。
- 背景に出る影を弱められます。
- 人物の肌や髪や服のてかりを抑えられます。

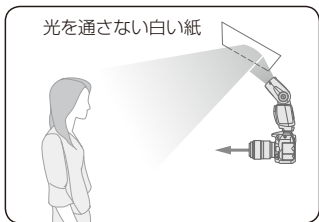
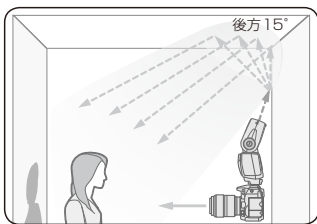
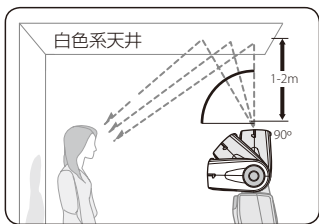
バウンスアダプターを装着すると、スピードライトの光が広く拡散して、さらにソフトに照明できます。

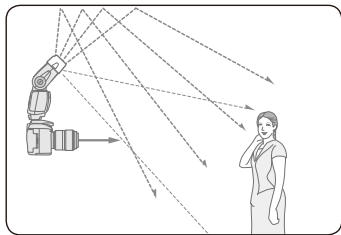
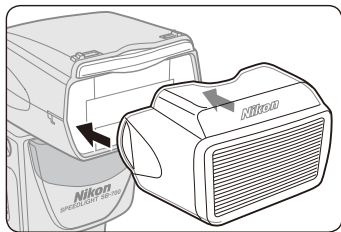
- バウンス撮影の比較作例の詳細は、別冊「作例集」をご覧ください。

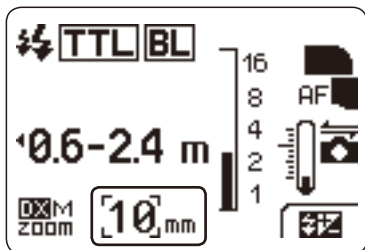
## フラッシュヘッドの設定方法

### フラッシュヘッドロック解除ボタンを押しながら、フラッシュヘッドを回転させる

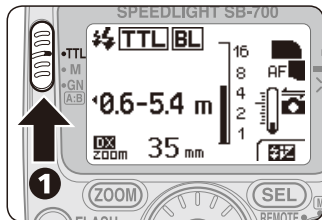
- 上方向90°～下方向7°、左右に180°ずつ回転できます。
- 図に示す数値の角度でクリックストップします。

## バウンス角度、反射面の選び方

- フラッシュヘッドを上方向に設定して、天井（反射面）にバウンスさせるのが最も簡単な撮影方法です。
- カメラを縦位置に構えた場合は、フラッシュヘッドを左右に回転させると、同様の効果が得られます。

- カメラ後方の天井や壁にバウンスさせると、上方バウンスに比べて、さらにやわらかく照明できます。
- 反射面は、白色系で反射率の高いものを選んでください。反射面に色があると、被写体にその色が影響します。
- スピードライトの光が直接被写体に当たらないように注意してください。
- フラッシュヘッドと反射面との距離は、撮影状況にもよりますが、1～2m前後が理想的です。
- 反射面が遠過ぎる場合は、白い紙（A4判程度）を反射面に利用すると効果的です。このとき、反射光が被写体に当たっていることを確認してください。

## バウンスアダプターの使い方

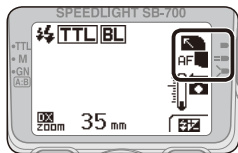
- スピードライトの光がバウンスアダプターによって広い範囲に拡散され、さらに光をやわらげ影を抑えることができます。
- カメラを縦位置に構えた場合でも、同様の効果が得られます。
- ワイドパネルを併用すると、さらに光を拡散する効果が得られます。(📖E-12)

### 装着方法

バウンスアダプターは図のように、Nikonロゴを上にして取り付けてください。

## 照射角表示

- バウンスアダプター装着時の照射角は、配光タイプに応じて、FXフォーマットでは12mm、14mm、17mm、DXフォーマットでは8mm、10mm、11mmに切り換えられます。（E-2、H-19）

## バウンス撮影の手順

❶ モードセレクターを[TTL]に合わせる

❷ カメラの絞り値、シャッタースピードなどを設定する

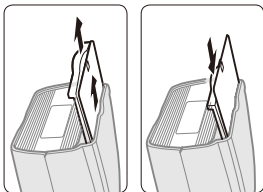
- 「バウンス撮影時の絞り値の設定方法」を参照してください。

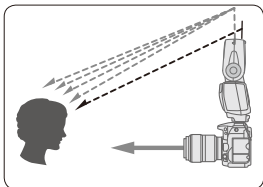
❸ フラッシュヘッドを設定し、撮影する

### バウンス撮影時の絞り値の設定方法

- 通常（フラッシュヘッドが正面位置）の撮影に比べて、バウンス撮影は光量が減少するため、2～3段開放側（小さい数値）の絞り値に設定して、撮影結果を見て調整してください。
- フラッシュヘッドを正面以外の位置に設定すると、調光範囲の表示が消灯します。正面位置で調光範囲と絞り値を確認してから、絞り値を設定してください。

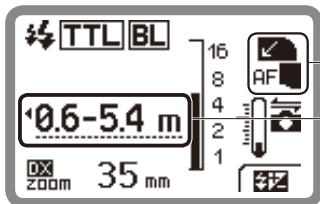
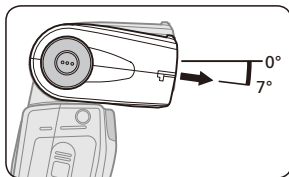
## キャッチライト反射板の使い方

- バウンス撮影時、キャッチライト反射板を使うと、人物の目に光を与えて、目を生き生きと表現できます。
- フラッシュヘッドは上方90°に向けてください。

### 反射板の設定方法

ワイドパネルと反射板を一緒に引き出して、ワイドパネルだけを押し戻してください。

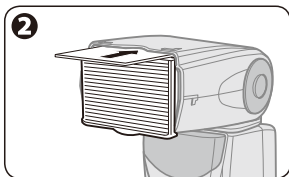
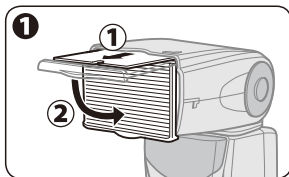
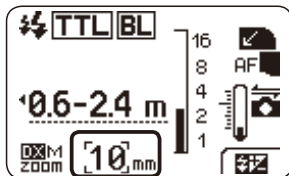
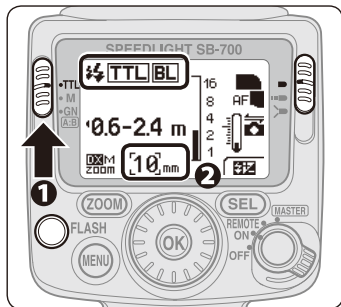
- 戻すときは、再度ワイドパネルを引き出して、反射板と一緒に押し戻してください。

# 近距離撮影

スピードライトから被写体までの距離が約2mより近い場合は、フラッシュヘッドを下方向に設定すると、被写体の下側にもスピードライトの光を充分に回すことができます。

- フラッシュヘッドを下方向に設定すると、下方バウンスアイコンが表示され、距離表示に点線のアンダーラインが表示されます。
- ワイドパネルを使用すると、スピードライトの光が拡散されるため、影を弱めたり、白とびを抑える効果があります。
- 全長が長いレンズでは、スピードライトの光がレンズの先端部分でさえぎられる場合があるので、ご注意ください。
- 近距離撮影時は、スピードライトの配光や使用するレンズ、焦点距離などにより、撮影画面の一部が光量不足になるケラレ現象が発生する場合があるので、試し撮りをおすすめします。

## ワイドパネルの設定

### ❶ ワイドパネルをゆっくり引き出して発光部側に倒す

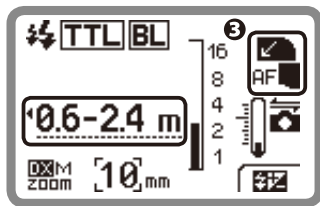
### ❷ キャッチライト反射板を押し戻す

・ワイドパネルを戻す場合は、ワイドパネルを起こして、まっすぐ奥まで押し込んでください。

・ワイドパネル設定時の照射角は、配光タイプに応じて、FXフォーマットでは12mm、14mm、17mm、DXフォーマットでは8mm、10mm、11mmに切り換えられます。(📖E-2、H-19)

## 下方バウンスによる近距離撮影の手順

❶ SB-700の発光モードを設定する

❷ ワイドパネルを設定する

❸ フラッシュヘッドを下方向に設定する

• 距離表示がアンダーライン付きになります。

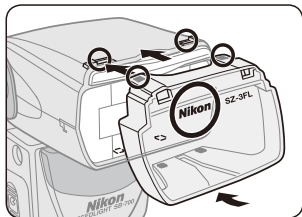
❹ レディーライトの点灯を確認して、撮影する

# カラーフィルターを使用した撮影

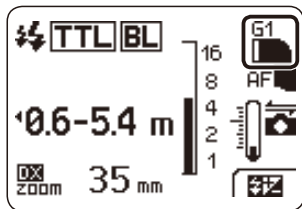
SB-700には、蛍光灯用と電球用の色補正カラーフィルターが付属しています。

- カラーフィルターによる色補正の比較作例の詳細は、別冊「作例集」をご覧ください。
- スピードライトの光の着色には、別売のカラーフィルターセットSJ-4をご使用ください。（□H-12）

## カラーフィルターの種類と用途

| カラーフィルター | 用途 |
| --- | --- |
| 蛍光灯用カラーフィルター（SZ-3FL。付属品） | 蛍光灯の光源による影響を補正 |
| 電球用カラーフィルター（SZ-3TN。付属品） | 電球の光源による影響を補正 |
| 着色用カラーフィルター(SJ-4。別売） | スピードライトの光に着色 |

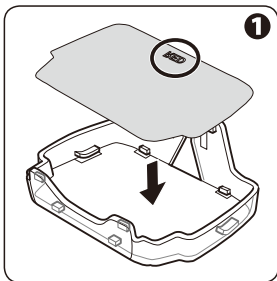
## 色補正用カラーフィルター（付属品）の使い方

❶ カラーフィルターを、フラッシュヘッドにかぶせて差し込む

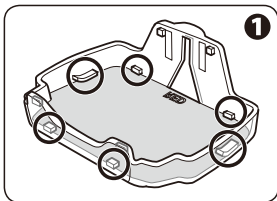
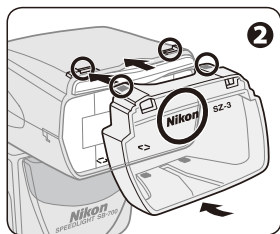
- 図のように、Nikonロゴを上にして取り付けてください。

❷ 表示を確認する

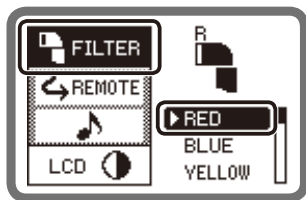
- カラーフィルターの種類が表示されます。
- SB-700からカメラにカラーフィルターの情報が送られます。

蛍光灯用カラーフィルター

電球用カラーフィルター

## 着色用カラーフィルター（別売）の使い方

### ❶ カラーフィルターを図のように、カラーフィルターホルダー（SZ-3）に装着する

- カラーフィルターの色名を下側にして装着します。
- 色名がホルダーの正面から読めるように装着することをおすすめします。
- カラーフィルターの端をホルダーのツメに差し込んでください。
- カラーフィルターはホルダーに密着させてください。浮き上がったり、端がめくれたりしている場合は、装着し直してください。

**❷ カラーフィルターホルダーを、フラッシュヘッドにかぶせて差し込む**

- ホルダーは図のように、Nikonロゴを上にして取り付けてください。
- カラーフィルターホルダーを装着すると、「カラーフィルターの設定」画面に変わります。
- カラーフィルターホルダーは、必ずカラーフィルターを付けてからフラッシュヘッドに装着してください。

**❸ カラーを設定する**

- カスタムメニューで、装着したフィルターのカラーを設定してください（□B-15）。

| | |
|---|---|
| RED（赤） | YELLOW（黄色） |
| BLUE（青） | AMBER（肌色） |

## ☑ 着色用カラーフィルター（SJ-4）使用上のご注意

- カラーフィルターは消耗品です。外観が著しく劣化したときは、予備のフィルターと交換してください。
- 発光時の熱などによってカラーフィルターの外観が変形しても、性能には問題ありません。
- カラーフィルターにキズ等があっても、変色していないかぎり、性能には問題ありません。
- カラーフィルターが汚れた場合は、乾いた柔らかい布などで軽く拭き取ってください。

## カラーフィルターとカメラのホワイトバランス設定

カメラのホワイトバランスを「オート」または「フラッシュ」に設定し、色補正用カラーフィルターを装着すると、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを設定します。

- 着色用カラーフィルター使用時は、カメラのホワイトバランスを「オート」、「フラッシュ」、「晴天」のいずれかに設定します。
- フィルター識別機能を備えていないカメラ（D2シリーズ、D1シリーズ、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ）では、装着したカラーフィルターに合わせて、次の表を参照して、カメラのホワイトバランスを設定してください。
- ホワイトバランスの詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。

# カラーフィルターを使用した撮影

## ■ カメラ別のホワイトバランス設定

| カメラ / フィルター | D7000 | D3*1、D3X、D3S、D700、D300*2、D300S、D90、D5000、D3100、D3000 | D2シリーズ、D1X、D1H、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D40シリーズ | D1、D50 |
|---|---|---|---|---|
| **SZ-3FL** | オート、フラッシュ | オート、フラッシュ | 推奨しません | 推奨しません |
| **SZ-3TN** | オート、フラッシュ | オート、フラッシュ（A6） | 電球（微調整－ 1） | 推奨しません |
| **着色用カラーフィルター（RED、BLUE、YELLOW、AMBER）** | オート、フラッシュ、晴天 | オート、フラッシュ、晴天 | オート、フラッシュ、晴天 | オート、フラッシュ、晴天 |

＊1 D3カメラのファームウェアがA：2.00、B：2.00以降で対応。

＊2 D300カメラのファームウェアがA：1.10、B：1.10以降で対応。

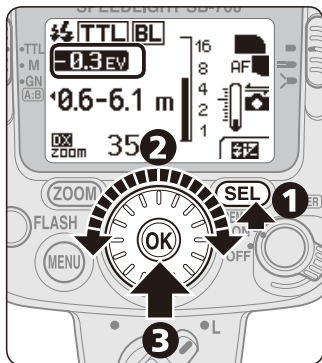
・撮影結果を見て、必要に応じて調光補正値などを調整してください。

E

主な機能

## 調光補正

スピードライトの発光量だけを意図的に変えて、背景の明るさを変えずに主要被写体の明るさのみを変えることを調光補正と言います。

- 主要被写体を明るくしたい場合は＋側に、暗くしたい場合は－側に補正します。
- 発光モードがi-TTL調光モードの場合に補正できます。

❶ [SEL] ボタンを押して、調光補正値表示を反転させる

❷ セレクターダイヤルで調光補正値を設定する

- ＋3.0～－3.0の範囲で、1/3段ステップで設定できます。

❸ [OK] ボタンを押す

### 調光補正を解除するには

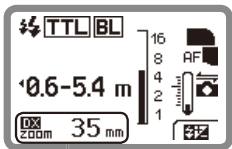
- 調光補正値を“0”に設定してください。
- 電源をOFFにしても、調光補正は解除されません。

## 調光補正機能を備えたフラッシュ内蔵デジタル一眼レフカメラについて

- 調光補正機能を備えたフラッシュ内蔵デジタル一眼レフカメラは、カメラ側でも発光量を補正できます。詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。
- スピードライトとカメラの両方で調光補正した場合は、両方の補正量を加算して発光します。ただし、スピードライトの表示パネルにはスピードライトで設定した補正値のみが表示されます。

## オートパワーズーム

SB-700は、レンズの焦点距離に合わせて照射角が自動的に設定されます。

- 自動設定できる照射角は設定によって異なります。詳細は「仕様」をご覧ください（🕮H-19）。

オートパワーズーム状態

| | |
|---|---|
| zoom | オートパワーズーム |
| M zoom | 照射角のマニュアル設定 |
| 14mm | バウンスアダプター装着時<br>ワイドパネル使用時 |
| 16 mm | 最広角側の照射角 |
| 120 mm | 最望遠側の照射角 |

### ■ マニュアルによる照射角の設定

レンズの焦点距離と異なる照射角に設定する場合は、マニュアルで設定します。

- マニュアル設定時は照射角表示にMが表示されます。
- ［ZOOM］ボタンを押してからセレクターダイヤルを回して、照射角を設定します。
- セレクターダイヤルを時計回りに回すと数値が増え、反時計回りに回すと数値が減ります。
- ［ZOOM］ボタンを押して照射角を設定することもできます。この場合は、［ZOOM］ボタンを押すごとに数値が増え、最望遠の次は最広角になります。
- 自動設定に戻る場合は、［ZOOM］ボタンを押してzoomアイコンが表示されたら［SEL］ボタンを押してください。

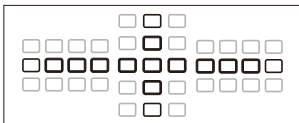
## AF補助光

被写体が暗く、オートフォーカスでのピント合わせが難しい場合でも、AF補助光により、オートフォーカスでピントを合わせることができます。

- SB-700のAF補助光はマルチポイントAFに対応しています。
- AF補助光はCLSに対応していないカメラおよびニコン クールピクスでは使用できません。

### ■ AF補助光の使用条件

- AF補助光は、オートフォーカスができるレンズを使い、フォーカスモードがシングルAFサーボ“S”（フォーカス優先モード）、“AF-A”または“AF”に設定されている場合に使えます。
- AF補助光の有効距離は画面中央部分で約1m～10m（50mm f/1.8レンズ使用時）です。使用レンズによっては、有効距離が短くなる場合があります。
- 使用できるレンズ焦点距離は24mm～135mmです。オートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。

**D7000カメラ、焦点距離24mm～135mmの場合**

- フォーカスロックしている場合や、レディーライトが点灯していない場合は、AF補助光が照射されません。
- 詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。

## ■ AF補助光発光禁止の設定

カスタムメニューでAF補助光の照射/禁止を設定できます。（🕮B-17）

AF：AF補助光を照射します。（初期設定）

：AF補助光の照射を禁止します。AFが表示されません。

## ☑ AF補助光を使用してもピントが合わない場合は

AF補助光が照射されてもファインダー内のピント表示が点灯しないときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

## SB-700をカメラから離して使用する際には

AF補助光機能を備えたTTL調光コードSC-29を使用すると、SB-700をカメラから離して使用する際にも、AF補助光を使用したオートフォーカスでのピント合わせができます。（🕮H-13）

## フラッシュ内蔵カメラのAF補助光との関係

- カメラ側にAF補助光機能がある場合でも、SB-700のAF補助光が優先され、自動的にAF補助光が照射されます。カメラのAF補助光は照射されません。
- SB-700でAF補助光の照射を禁止している場合は、カメラのAF補助光が照射されます。

## テスト発光

テスト発光ボタンを押すと発光して、SB-700が正常に発光するかどうかを確認できます。

- テスト発光の光量は、発光モードや設定によって異なります。

## モデリング発光

モデリング発光を行うと一定の微小光量で連続発光して、てかりや影など、ライティング状態をチェックすることができます。

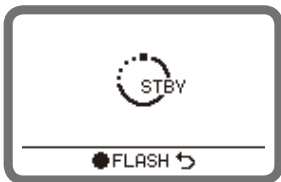
- モデリング発光機能を持つカメラのプレビューボタンを押すと、モデリング発光します。詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。
- 発光時間は、最長で約1秒間です。

### ■ アドバンストワイヤレスライティング撮影時

- カメラのプレビューボタンを押すと、発光に設定されているマスターフラッシュおよびすべてのリモートフラッシュが設定されたモードと光量でモデリング発光します。

### ■ SU-4方式のワイヤレス増灯撮影時

- カメラのプレビューボタンを押すと、マスターフラッシュのみがモデリング発光します。
- マスターフラッシュのモデリング発光によってリモートフラッシュが連続的に発光しますが、これはモデリング発光ではありません。

## スタンバイ

SB-700とカメラを操作しない状態が一定時間続くと、自動的に待機（スタンバイ）状態になり、電池の消耗を抑えます。

- SB-700のスタンバイ機能はカメラの半押しタイマーに連動しています（初期設定）。

- スタンバイ状態になるまでの時間は、カスタムメニューで変更できます。（□B-16）

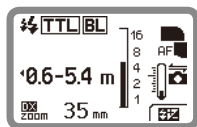
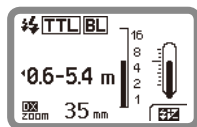
### スタンバイ状態から電源ONにするには

- カメラのシャッターボタンを半押しします。
- SB-700の電源スイッチを再度OFFから［ON］、［REMOTE］または［MASTER］に合わせます。
- テスト発光ボタンを押します。

## 過熱防止

SB-700は過熱による発光パネルおよび本体の破損を防止する機能を備えています。ただし、この機能は発光によって発光部の温度が上昇するのを防止するものではありません。連続発光を繰り返す場合は、温度上昇に注意してください。

- 連続発光などによって発光部の温度が上昇すると「温度注意画面」が表示されます。
- さらに温度が上昇して、発光パネルや本体に破損のおそれがある場合は、「高温検出警告画面」に変わり、一時的にすべての操作ができなくなります。

平常時の画面

温度注意画面

高温検出警告画面

温度が高い

- 発光部を自然冷却してください。
- 警告画面が消えると、通常の操作ができます。
- 照射角が変化することによって、まれに「高温検出警告画面」が出たり消えたりすることがありますが、故障ではありません。

# カメラ側の設定による撮影機能

次の撮影機能は、それぞれの機能を備えたカメラとの組み合わせでできる撮影で、カメラ側で設定します。スピードライトでは設定できません。

・カメラ側の機能や設定の詳細は、カメラの使用説明書をご覧ください。

## オートFPハイスピードシンクロ撮影

対応カメラの最高速度までの高速シャッタースピードが使える機能です。

・シャッタースピードがフラッシュ同調シャッタースピードよりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。
・日中の撮影でも、フラッシュ同調シャッタースピードを気にすることなく、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影がお楽しみいただけます。
・アドバンストワイヤレスライティングによる増灯撮影時でも機能します。
・使用できる発光モードは、i-TTL調光、マニュアル発光、距離優先マニュアル発光です。
・FP発光時のTTL調光範囲、ガイドナンバーについては「仕様」をご覧ください。（□H-23）

## FVロック撮影

FVロックするとフラッシュ調光量がロックされるため、構図を変えても被写体の明るさを一定に保ったまま撮影できます。

- FVロック中にズーミングや絞り値の変更をしても、発光量は自動追随するのでフラッシュ調光量（明るさ）は変わりません。
- FVロック中はフラッシュ調光量を一定にしたまま複数のコマを撮影できます。
- アドバンストワイヤレスライティングによる増灯撮影時でも機能します。
- 使用できる発光モードは、i-TTL調光、クイックワイヤレスコントロールモードです。
- FVとはFlash Valueの略で、フラッシュによる被写体の露光量を意味します。

## スローシンクロ（スローシャッター）撮影

背景の露出を考慮して、低速シャッタースピードに制御されるので、夕景や夜景の雰囲気を生かした撮影ができます。

- シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

## 赤目軽減発光撮影/赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影

本発光直前に小光量で3回発光して、暗いところで人物の瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減して撮影できます。

- 赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影は、赤目軽減発光とスローシンクロ（スローシャッター）撮影が同時に設定されます。
- 赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）撮影ではシャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

## 後幕シンクロ撮影

夜間、動いている被写体を通常の先幕シンクロで低速シャッタースピードで撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に流れ、不自然な写真になってしまいます。後幕シンクロでは、光の軌跡が被写体の後方に流れる自然な撮影ができます。

- 先幕シンクロ時は先幕走行終了直後に発光しますが、後幕シンクロ時は後幕走行開始直前に発光します。
- 通常、シャッタースピードを低速にして撮影するので、三脚のご使用をおすすめします。

先幕シンクロ時

後幕シンクロ時

E 主な機能

# F CLS 非対応一眼レフカメラ使用時

SB-700は、CLS非対応一眼レフカメラとの組み合わせでも使えますが、いくつかの機能は制限されます。

- 制限される機能は、使用するカメラによって異なります。
- 使用するカメラの使用説明書もあわせてご覧ください。

## CLS対応カメラと非対応カメラの違い

| | CLS 対応カメラ | CLS 非対応カメラ |
|---|---|---|
| カメラ通信アイコン | 表示される | 表示されない |
| 使用できる発光モード | • i-TTL 調光モード<br>• マニュアル発光モード<br>• 距離優先マニュアル発光モード | • マニュアル発光モード |
| アドバンストワイヤレスライティング撮影 | 使用可能 | 使用不可 |
| SU-4 タイプのワイヤレス増灯撮影 | リモートフラッシュとしてのみ使用可能 | リモートフラッシュとしてのみ使用可能 |
| カラーフィルターを使用した撮影 | 使用可能（フィルター識別機能搭載カメラではフィルター情報を伝達） | 使用可能（ただし、フィルター情報は伝達しません） |
| FV ロック撮影 | 使用可能 | 使用不可 |
| オート FP ハイスピードシンクロ撮影 | 使用可能 | 使用不可 |
| 赤目軽減発光撮影 | 使用可能 | 使用不可 |
| 後幕シンクロ撮影 | 使用可能 | 使用可能 |

| | CLS 対応カメラ | CLS 非対応カメラ |
|---|---|---|
| AF 補助光 | 使用可能<br>（マルチポイント AF に対応） | 使用不可 |
| ファームアップ機能 | 使用可能<br>（ファームアップ対応カメラ） | 使用不可 |

# ニコン クールピクスとの組み合わせについて

SB-700は、次のニコン クールピクスとの組み合わせでも使えますが、いくつかの機能は制限されます。

**CLS対応ニコン クールピクス（P7000、P6000）**

**i-TTL対応ニコン クールピクス（P5100、P5000、E8800、E8400）**

・使用するカメラの使用説明書もあわせてご覧ください。

## ニコン クールピクス使用時

| | CLS 対応<br>ニコン クールピクス | i-TTL 対応<br>ニコン クールピクス |
|---|---|---|
| 使用できる発光モード | • スタンダード i-TTL 調光モード<br>• マニュアル発光モード<br>• 距離優先マニュアル発光モード | |
| 使用できるワイヤレス増灯モード*[1] | • アドバンストワイヤレスライティング*[2]<br>• SU-4 タイプ（リモートフラッシュとしてのみ使用可能） | • SU-4 タイプ（リモートフラッシュとしてのみ使用可能） |
| FV ロック撮影 | 使用不可 | |
| オート FP ハイスピードシンクロ撮影 | 使用不可 | |
| AF 補助光 | 使用不可 | |
| ファームアップ機能 | 使用不可 | |

＊1　ニコン クールピクスの内蔵フラッシュをマスターフラッシュに、SB-700をリモートフラッシュにしたワイヤレス増灯撮影はできません。

＊2　クイックワイヤレスコントロールモードは使用できません。

## CLS対応のニコン クールピクスについて

・マスターフラッシュになるSB-700、SB-800、SB-900またはワイヤレススピードライトコマンダーSU-800をニコン クールピクスのアクセサリーシューに取り付けて、SB-700、SB-600、SB-800、SB-900などを「リモートモード」に設定すれば、ワイヤレス増灯撮影ができます。
・設定条件など詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。

## CLS対応ニコン クールピクスとの組み合わせ時の照射角の設定

オートパワーズーム機能により、レンズの焦点距離に合わせて照射角が自動的に設定されます。このとき、照射角表示にはzoom AUTO（ズームオート）が表示され、照射角の数値は表示されません。

# 使用上のご注意・資料

トラブルへの対処、お手入れの方法や製品の保証などを説明しています。
また、使用できるアクセサリーもご紹介しています。

## 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたり、警告表示が出たら、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目を確認してください。

### SB-700のトラブル

| トラブル | 原因 | 対処方法 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 電源が入らない | 電池の＋－が逆になっている | 電池を正しく入れてください | B-5 |
| | 電池容量が不足している | 電池を交換してください | B-7 |
| レディーライトが点灯しない | スタンバイ状態になっている | ・カメラのシャッターボタンを半押ししてください<br>・SB-700 の電源を ON にしてください | E-26 |
| | 電池容量が不足している | 電池を交換してください | B-7 |
| 調光距離表示が出ない | フラッシュヘッドが正面に設定されていない | フラッシュヘッドを正面に設定してください | B-9 |
| | カメラからの絞り値情報がない | ・カメラの設定を確認してください<br>・SB-700 をカメラに装着し直してください | — |
| | カメラからの焦点距離情報がない | SB-700 とカメラの電源を入れ直してください | — |

| トラブル | 原因 | 対処方法 | 🕮 |
| --- | --- | --- | --- |
| オートズーム動作しない | ワイドパネルを設定している、またはバウンスアダプターを装着している | ワイドパネルまたはバウンスアダプターを外してください | E-12<br>E-7 |
| | マニュアルによる照射角設定になっている | オートパワーズームに設定してください | E-22 |
| リモートフラッシュが発光しない | マスターフラッシュとリモートフラッシュの距離が遠すぎる、または間に障害物がある | マスターフラッシュとリモートフラッシュの配置をやり直してください | D-21<br>D-22<br>D-23 |
| | マスターフラッシュの光がリモートフラッシュのワイヤレスリモートセンサー窓に入っていない | | |
| 正常に動作しない | 充分な容量がある電池を正しく入れていても左のようなトラブルがある場合は、マイクロコンピューターの誤作動の可能性があります | ・SB-700 の電源スイッチを ON にしたまま、電池を入れ直してください<br>・電池を入れ直しても左のようなトラブルが解消されない場合は、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください | B-5 |
| 異常な表示が出る | | | |
| 操作ができない | 過熱防止機能が働いた | 自然冷却して、温度が下がるのを待ってください | E-27 |

## 警告表示

| 表示 / 警告 | 原因 | 対処方法 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 電池容量不足画面 | 電池容量不足のため、すべての動作を停止した | 電池を交換してください | B-7 |
| 高温検出警告画面 | SB-700 が過熱して破損するおそれがあるため、一時的に動作を停止した | 自然冷却して、温度が下がるのを待ってください | E-27 |
| WARNING!<br>安全回路作動画面 | 電圧異常を検出したため、電源スイッチ以外の操作を停止した | 電源を OFF にしてから電池を取り出し、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください | H-29 |
| 発光直後にレディーライトが点滅 | 適正露出が得られていない可能性がある | スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にするなどして、撮影し直してください | C-5<br>C-12<br>D-24 |
| リモートフラッシュがピーピーピーと約 3 秒間鳴った | 適正露出が得られていない可能性がある | スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側にする、リモートフラッシュの位置を変えるなどして、撮影し直してください | D-24 |

| 表示 / 警告 | 原因 | 対処方法 | 📖 |
|---|---|---|---|
| ON カメラ不適合警告画面（CLS） | アドバンストワイヤレス増灯撮影ができないカメラ使用時に、電源スイッチ/ワイヤレス増灯モードスイッチを [MASTER] に設定した | 電源スイッチ / ワイヤレス増灯モードスイッチを [ON] に設定してください | F-1 |
| M ON カメラ不適合警告画面（非 CLS） | CLS 非対応カメラ使用時に、モードセレクターを [TTL]、[GN] に設定したか、電源スイッチ / ワイヤレス増灯モードスイッチを [REMOTE]、[MASTER] に設定した | 電源スイッチ / ワイヤレス増灯モードスイッチを [ON] に、モードセレクターを [M] に設定してください | F-1 |
| TTL バウンス警告画面 | フラッシュヘッドを上方向または左右方向に設定時に「距離優先マニュアル発光モード」を選択した | ・フラッシュヘッドを正面または下方向に設定してください<br>・「i-TTL 調光」または「マニュアル発光」モードに設定してください | C-11 |
| zoom Err | ズーム動作機構に異常が発生した | ・SB-700 の電源を入れ直してください<br>・電源を入れ直しても表示が消えない場合は、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください | H-29 |

## ワイドパネルが取れてしまった場合は

・ワイドパネルを設定した状態で強い衝撃を与えると、ワイドパネルが外れるおそれがありますので、ご注意ください。
・ワイドパネルが取れてしまった場合の補修は、ご購入店またはニコンサービス機関にご依頼ください。
・ワイドパネルが取れるとワイドパネルを設定した状態と同じになり、照射角は任意に設定できなくなります。

# ガイドナンバーと絞り値、距離について

ガイドナンバー（GN）とはスピードライトの発光量を示す値で、数値が大きいほど光量が大きく、光が遠くまで届きます。
ガイドナンバー＝スピードライトから被写体までの距離（m）×絞り値（F）という関係があります（ISO 100の場合）。たとえば、SB-700はガイドナンバーが28（ISO 100、照射角35mm、FXフォーマット、スタンダード配光時、20℃）なので、ISO感度が100で絞り値がF8なら、ガイドナンバー28÷絞り値8＝3.5mまでスピードライトの光が届くことになります。

- ISO 100以外の場合は、ISO感度に応じてガイドナンバーに下の係数を乗じてください。

| ISO | 25 | 50 | 100 | 200 | 400 | 800 | 1600 | 3200 | 6400 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 係数 | 0.5 | 0.71 | 1 | 1.4 | 2 | 2.8 | 4 | 5.6 | 8 |

- ガイドナンバーの詳細は「仕様」をご覧ください。（🕮H-20）

## 適正な露出が得られる絞り値、距離の求め方

絞り値 = ガイドナンバー（ISO 100･m）× ISO感度係数 ÷ スピードライトから被写体までの距離（m）

スピードライトから被写体までの距離（m）=
ガイドナンバー（ISO 100･m）× ISO感度係数 ÷ 絞り値

# お手入れについて

使用禁止

**シンナーやベンジンなどの有機溶剤を清浄に使用しないこと**

火災や健康障害の原因となります。

## お手入れの方法

- 発光パネルにゴミが付着したまま発光させると、発光パネルの破損につながります。定期的にパネルを清掃してください。
- ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払った後、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた布で軽く拭いて乾かしてください。
- ブラシなどで表示パネルを拭いた場合、静電気で表示パネルが点灯したり、黒く変色したりすることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると、正常な状態に戻ります。
- スピードライト内部には、精密な電子部品が多く含まれています。振動や衝撃を与えないでください。また、表示パネルを強い力で押さないでください。

## 保管の方法

- カビや湿気による故障を防ぐため、風通しの良い乾燥したところに保管してください。
- ナフタリンや樟脳、磁気を発生する器具の近くには、置かないでください。
- 極端に高温になるところ（夏期の車内やストーブなどの近く）には、置かないでください。高温になると、故障の原因となります。
- 約2週間以上使用しないときは、電池の液漏れによる故障を防ぐために、電池を取り出してください。
- コンデンサー（スピードライト内部の部品）の劣化を防ぐため、約1ヶ月に1回はテスト発光を行ってください。

## ご使用になる場所にご注意ください

- 極端に温度差がある場所に移動すると、スピードライトの内部や外観部に水滴が生じることがあります。バッグやビニール袋などに入れ、周囲の温度になじませてからご使用ください。
- テレビ塔や高圧鉄塔に近い場所では、強い磁気や電波が発生しており、誤作動することがあります。

# 電池についてのご注意

- 一般的に、スピードライトは非常に大きな電流を消費するため、電池などに記されている充放電回数前に電池が使えなくなる場合があります。
- 電池を交換するときは、電源をOFFにしてから、＋－を間違えないよう正しく入れてください。
- 電池の両極に油や汚れなどが付着していると、接触不良の原因となりますので、ご注意ください。
- 電池の仕様により、連続発光して電池が高温になると発光できなくなることがあります。ただし、電池温度が下がれば、ご使用になれます。
- 電池には、低温になるほど性能が低下する性質、使用しないでおくと電圧が回復する性質、使わなくても自己放電する性質があります。ご使用になる前には電池の容量の確認を心がけて、電池は早めに交換することをおすすめします。
- 電池は、高温・多湿になる場所を避けて保管してください。
- 充電池のご使用上の注意や充電方法などについては、各メーカーの電池および充電器の使用説明書をご覧ください。
- 充電池以外は充電しないでください。充電すると、破裂する恐れがあります。

| NIMH 小型充電式電池のリサイクル | 不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。 |
|---|---|

# 表示パネルについて

## 表示パネルの特性

- 表示パネルの液晶には指向性があります。斜め上から見ると読み取りにくくなりますが、やや下の方向から見ると読み取りやすくなります。
- 約60℃以上の高温下では、一時的に液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば表示も正常に戻ります。
- 低温下では液晶の応答速度が多少遅くなり、表示が読み取りにくくなったり、表示の切り換わりに時間がかかったりすることがありますが、常温に戻れば正常に戻ります。

## 表示パネルバックライトの点灯、消灯

SB-700の電源がONの状態でボタンやスイッチを操作すると、バックライトが点灯して、表示パネルが読み取りやすくなります。

- SB-700を操作しない状態が約16秒間続くと、バックライトは消灯します。
- カメラ側の表示パネルの照明が点灯すると、連動してSB-700の表示パネルの照明も点灯します。

## 表示パネルのコントラストの設定

表示パネルのコントラストは、カスタムメニューで調整して、読み取りやすくすることができます。(□B-16)

- コントラストは9段階に設定できます。

# ファームアップの方法

SB-700のファームアップに対応したカメラでは、ニコンウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、カメラボディーからの操作でアップデートすることができます。

http://www.nikon-image.com/support/

- D3カメラはファームウェアがA：2.00、B：2.00以降で対応。
- D300カメラはファームウェアがA：1.10、B：1.10以降で対応。
- 現在使用中のファームウェアのバージョンは、カスタムメニューで確認できます。（□B-17）
- ファームアップ対応カメラをお持ちでない方は、ニコンサービス機関にご相談ください。

## SB-700のファームアップに対応していないカメラ

**D2シリーズ、D1シリーズ、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ**

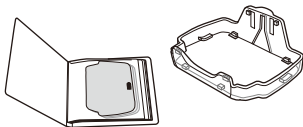
# 使用できるアクセサリー

## ■ スピードライトスタンド AS-22

付属品のスピードライトスタンドAS-22と同じものです。

## ■ カラーフィルターセット SJ-4

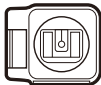
カラーフィルターホルダー、カラーフィルターケースとカラーフィルター4種類、12枚のセットです
・BLUE（青）・YELLOW（黄色）
・RED（赤）・AMBER（肌色）

- カラーフィルターは消耗品です。ご使用条件により異なりますが、発光時の熱によって劣化します。必要に応じて点検の上、交換するようおすすめいたします。

## ■ ウォーターガード WG-AS1、WG-AS2、WG-AS3

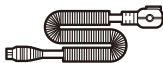
SB-700とニコンデジタル一眼レフカメラの組み合わせ時に、カメラ連動接点への水滴の浸入を防ぐカバーです。

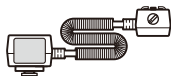
WG-AS1：D3シリーズ専用
WG-AS2：D300シリーズ専用
WG-AS3：D700専用

## ■ スレーブフラッシュコントローラー SU-4

マスターフラッシュの発光開始と発光停止をSU-4のセンサーで検知し、SU-4を取り付けたスピードライトの発光開始と停止を同じタイミングで制御するので、ワイヤレス増灯撮影ができます。

## 使用できるアクセサリー

### ■ TTL調光コード SC-28/17（約1.5m）

スピードライトをカメラから離してi-TTL調光撮影をする際に使用します。三脚取り付け用のねじ穴を備えています。

### ■ TTL調光コード　SC-29（約1.5m）

スピードライトをカメラから離してi-TTL調光撮影をする際に使用します。AF補助光機能を備えています。

# 仕様

| 型式 | 直列制御方式 TTL 自動調光スピードライト |
|---|---|
| ガイドナンバー(照射角35mm、FXフォーマット、スタンダード配光時、20℃) | 28（ISO 100・m）/39（ISO 200・m） |
| 調光範囲<br>（i-TTL 調光モード時） | 0.6m ～ 20m（フォーマット、配光タイプ、ISO 感度、照射角、絞り値によって異なります） |
| 配光画角 | 配光タイプ切り換え（スタンダード配光 / 中央部重点配光 / 均質配光）<br>FX/DX 切り換え対応 |
| 発光モード | • i-TTL 調光モード<br>• マニュアル発光モード<br>• 距離優先マニュアル発光モード |
| その他の発光機能 | テスト発光 / モニター発光 / マルチポイント AF 補助光 / モデリング発光 |
| ニコンクリエイティブライティングシステム | 対応カメラと組み合わせると、次の機能が可能。<br>i-TTL 調光モード / アドバンストワイヤレスライティング /FV ロック撮影 / 発光色温度情報伝達 / オート FP ハイスピードシンクロ撮影 / マルチポイント AF 補助光 |
| 増灯撮影機能 | • アドバンストワイヤレスライティング撮影<br>• SU-4 タイプのワイヤレス増灯撮影（リモートモードのみ） |

# 仕様

| | |
|---|---|
| カメラ側の設定による撮影機能 | **カメラのシンクロモード**：スローシンクロ（スローシャッター）/ 赤目軽減スローシンクロ（スローシャッター）/ 先幕シンクロ / 後幕シンクロ / 後幕スローシンクロ（スローシャッター）<br>**撮影機能**：オート FP ハイスピードシンクロ撮影 / FV ロック撮影 / 赤目軽減発光撮影 |
| バウンス角度 | 垂直方向：上方向 90°〜正面〜下方向 7°<br>（クリック：下 7° / 正面 /45° /60° /75° /90°）<br>水平方向：左方向 180°〜右方向 180°<br>（クリック:正面 /30° /60° /75° /90° /120° /150° /180°） |
| 電源 ON/OFF | 電源スイッチによる切り換え<br>スタンバイ機能設定可能 |
| 使用電池 | 次の単 3 形電池の同一種類を 4 本<br>• 1.5V アルカリ単 3 形電池<br>• 1.5V リチウム単 3 形電池<br>• 1.2V ニッケル水素単 3 形充電池<br>使用電池別の最短発光間隔、発光回数は（🕮H-24） |
| レディーライト | 充電完了：点灯<br>光量不足警告（i-TTL 調光モード / 距離優先マニュアル発光モード時）：点滅 |
| レディーライト（リモートモード時） | 充電完了：点滅<br>光量不足警告（i-TTL 調光モード /SU-4 タイプの AUTO モード時）：点滅 |

| 閃光時間 | 約1/1042秒：M1/1発光（FULL）<br>約1/1136秒：M1/2発光<br>約1/2857秒：M1/4発光<br>約1/5714秒：M1/8発光<br>約1/10000秒：M1/16発光<br>約1/18182秒：M1/32発光<br>約1/25000秒：M1/64発光<br>約1/40000秒：M1/128発光 |
|---|---|
| ロックレバー | ロックプレートおよびロックピンにより、アクセサリーシューからの脱落を防止。 |
| 調光補正 | ＋3.0～－3.0の範囲で1/3段ステップで調光可能。（i-TTL調光モード時） |
| カスタムメニュー項目 | 全11項目 |
| その他の機能 | 過熱防止 / ファームアップ |
| 寸法（W × H × D） | 約71 × 126 × 104.5mm |
| 質量 | 約360g（本体のみ）<br>約450g（1.5Vアルカリ単3形電池× 4本を含む） |
| 付属品 | スピードライトスタンド　AS-22、バウンスアダプターSW-14H、カラーフィルター　SZ-3TN、カラーフィルター　SZ-3FL、ソフトケース　SS-700 |

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、全て常温（20 ℃）、新品電池使用時のものです。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本書記載の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

## 調光範囲
## （i-TTL 調光モード）

SB-700の調光範囲は0.6m～20mです。調光範囲はフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、絞り値によって異なります。

- 次の表はFXフォーマット、スタンダード配光時の調光範囲表です。
- 各設定状態での調光範囲は、表示パネルで確認できます（C-4）。

### FXフォーマット、スタンダード配光時

| | ISO 感度 | | | | | | | | 照射角（mm） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 12800 | 6400 | 3200 | 1600 | 800 | 400 | 200 | 100 | 14BA/WP | 14BA | 14WP | 24 | 28 | 35 | 50 | 70 | 85 | 105 | 120 | |
| 絞り値（F） | 1.4 | | | | | | | | 4.9～20 | 7～20 | 7～20 | 12～20 | 13～20 | 14～20 | 16～20 | 17～20 | 18～20 | 19～20 | 19～20 | 調光距離範囲（m） |
| | 2 | 1.4 | | | | | | | 3.5～20 | 4.9～20 | 4.9～20 | 8～20 | 8.8～20 | 9.8～20 | 11～20 | 12～20 | 13～20 | 14～20 | 14～20 | |
| | 2.8 | 2 | 1.4 | | | | | | 2.5～20 | 3.5～20 | 3.5～20 | 5.7～20 | 6.2～20 | 7～20 | 7.6～20 | 8.5～20 | 8.8～20 | 9.3～20 | 9.3～20 | |
| | 4 | 2.8 | 2 | 1.4 | | | | | 1.8～20 | 2.5～20 | 2.5～20 | 4～20 | 4.4～20 | 4.9～20 | 5.4～20 | 6～20 | 6.2～20 | 6.6～20 | 6.6～20 | |
| | 5.6 | 4 | 2.8 | 2 | 1.4 | | | | 1.3～19 | 1.8～20 | 1.8～20 | 2.9～20 | 3.1～20 | 3.5～20 | 3.8～20 | 4.3～20 | 4.4～20 | 4.7～20 | 4.7～20 | |
| | 8 | 5.6 | 4 | 2.8 | 2 | 1.4 | | | 0.9～13 | 1.3～19 | 1.3～19 | 2～20 | 2.2～20 | 2.5～20 | 2.7～20 | 3～20 | 3.1～20 | 3.3～20 | 3.3～20 | |
| | 11 | 8 | 5.6 | 4 | 2.8 | 2 | 1.4 | | 0.7～9.7 | 0.9～13 | 0.9～13 | 1.5～20 | 1.6～20 | 1.8～20 | 1.9～20 | 2.2～20 | 2.2～20 | 2.4～20 | 2.4～20 | |
| | 16 | 11 | 8 | 5.6 | 4 | 2.8 | 2 | 1.4 | 0.6～6.9 | 0.7～9.7 | 0.7～9.7 | 1～16 | 1.1～17 | 1.3～19 | 1.4～20 | 1.5～20 | 1.6～20 | 1.7～20 | 1.7～20 | |
| | 22 | 16 | 11 | 8 | 5.6 | 4 | 2.8 | 2 | 0.6～4.8 | 0.6～6.9 | 0.6～6.9 | 0.7～11 | 0.8～12 | 0.9～13 | 1～15 | 1.1～16 | 1.1～17 | 1.2～18 | 1.2～18 | |

## FXフォーマット、スタンダード配光時

| | ISO 感度 | | | | | | | | 照射角（mm） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 12800 | 6400 | 3200 | 1600 | 800 | 400 | 200 | 100 | 14BA/WP | 14BA | 14WP | 24 | 28 | 35 | 50 | 70 | 85 | 105 | 120 | |
| 絞り値(F) | 32 | 22 | 16 | 11 | 8 | 5.6 | 4 | 2.8 | 0.6～3.4 | 0.6～4.8 | 0.6～4.8 | 0.6～8 | 0.6～8.7 | 0.7～9.7 | 0.7～10 | 0.8～11 | 0.8～12 | 0.9～13 | 0.9～13 | 調光距離範囲（m） |
| | | 32 | 22 | 16 | 11 | 8 | 5.6 | 4 | 0.6～2.4 | 0.6～3.4 | 0.6～3.4 | 0.6～5.6 | 0.6～6.1 | 0.6～6.9 | 0.6～7.5 | 0.6～8.4 | 0.6～8.7 | 0.6～9.2 | 0.6～9.2 | |
| | | | 32 | 22 | 16 | 11 | 8 | 5.6 | 0.6～1.7 | 0.6～2.4 | 0.6～2.4 | 0.6～4 | 0.6～4.3 | 0.6～4.8 | 0.6～5.3 | 0.6～5.9 | 0.6～6.1 | 0.6～6.5 | 0.6～6.5 | |
| | | | | 32 | 22 | 16 | 11 | 8 | 0.6～1.2 | 0.6～1.7 | 0.6～1.7 | 0.6～2.8 | 0.6～3 | 0.6～3.4 | 0.6～3.7 | 0.6～4.2 | 0.6～4.3 | 0.6～4.6 | 0.6～4.6 | |
| | | | | | 32 | 22 | 16 | 11 | 0.6～0.8 | 0.6～1.2 | 0.6～1.2 | 0.6～2 | 0.6～2.1 | 0.6～2.4 | 0.6～2.6 | 0.6～2.9 | 0.6～3 | 0.6～3.2 | 0.6～3.2 | |
| | | | | | | 32 | 22 | 16 | 0.6～0.6 | 0.6～0.8 | 0.6～0.8 | 0.6～1.4 | 0.6～1.5 | 0.6～1.7 | 0.6～1.8 | 0.6～2.1 | 0.6～2.1 | 0.6～2.3 | 0.6～2.3 | |
| | | | | | | | 32 | 22 | – | 0.6～0.6 | 0.6～0.6 | 0.6～1 | 0.6～1 | 0.6～1.2 | 0.6～1.3 | 0.6～1.4 | 0.6～1.5 | 0.6～1.6 | 0.6～1.6 | |
| | | | | | | | | 32 | – | – | – | 0.6～0.7 | 0.6～0.7 | 0.6～0.8 | 0.6～0.9 | 0.6～1 | 0.6～1 | 0.6～1.1 | 0.6～1.1 | |

- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

# 仕様

## FX フォーマット 照射角度表

| ズームセット位置 | 照射角度（°） | |
|---|---|---|
| | 垂直方向 | 水平方向 |
| 12（BA/WP）*1 | 120 | 130 |
| 14（BA/WP）*2 | 110 | 120 |
| 17（BA/WP）*3 | 100 | 110 |
| 24*4 | 60 | 78 |
| 28 | 53 | 70 |
| 35 | 45 | 60 |
| 50 | 34 | 46 |
| 70 | 26 | 36 |
| 85 | 23 | 31 |
| 105*5 | 20 | 27 |
| 120*5 | 18 | 25 |

## DX フォーマット 照射角度表

| ズームセット位置 | 照射角度（°） | |
|---|---|---|
| | 垂直方向 | 水平方向 |
| 8（BA/WP）*1 | 120 | 130 |
| 10（BA/WP）*2 | 110 | 120 |
| 11（BA/WP）*3 | 100 | 110 |
| 16*4 | 60 | 78 |
| 17*4 | 57 | 75 |
| 18*4 | 55 | 72 |
| 20 | 50 | 67 |
| 24 | 44 | 58 |
| 28 | 39 | 52 |
| 35 | 32 | 44 |
| 50 | 25 | 34 |
| 70 | 20 | 27 |
| 85*5 | 17 | 24 |
| 105*3 | 16 | 22 |
| 120*3 | 15 | 21 |

BA：バウンスアダプター装着時　WP：ワイドパネル使用時
*1　中央部重点配光時
*2　スタンダード配光時
*3　均質配光時
*4　スタンダード配光および中央部重点配光時
*5　スタンダード配光および均質配光時

## ガイドナンバー表

SB-700のガイドナンバーはFX/DXフォーマット、配光タイプ、ISO感度、照射角、発光量によって異なります。

ISO 100・m

| 照射角（mm） | FXフォーマット | | | DXフォーマット | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | スタンダード配光 | 中央部重点配光 | 均質配光 | スタンダード配光 | 中央部重点配光 | 均質配光 |
| 8（BA+WP） | – | – | – | – | 10 | – |
| 8（BA） | – | – | – | – | 14 | – |
| 8（WP） | – | – | – | – | 14 | – |
| 10（BA+WP） | – | – | – | 10 | – | – |
| 10（BA） | – | – | – | 14 | – | – |
| 10（WP） | – | – | – | 14 | – | – |
| 11（BA+WP） | – | – | – | – | – | 10 |
| 11（BA） | – | – | – | – | – | 14 |
| 11（WP） | – | – | – | – | – | 14 |
| 12（BA+WP） | – | 10 | – | – | – | – |
| 12（BA） | – | 14 | – | – | – | – |
| 12（WP） | – | 14 | – | – | – | – |
| 14（BA+WP） | 10 | – | – | – | – | – |
| 14（BA） | 14 | – | – | – | – | – |
| 14（WP） | 14 | – | – | – | – | – |
| 16 | – | – | – | 23 | 25 | – |

| 照射角（mm） | FX フォーマット | | | DX フォーマット | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | スタンダード配光 | 中央部重点配光 | 均質配光 | スタンダード配光 | 中央部重点配光 | 均質配光 |
| 17（BA+WP） | – | – | 10 | – | – | – |
| 17（BA） | – | – | 14 | – | – | – |
| 17（WP） | – | – | 14 | – | – | – |
| 17 | – | – | – | 23.5 | 26 | – |
| 18 | – | – | – | 24.5 | 27 | – |
| 20 | – | – | – | 26 | 28.5 | 23 |
| 24 | 23 | 25 | – | 28 | 30 | 24 |
| 28 | 25 | 28 | 23 | 29 | 31.5 | 26 |
| 35 | 28 | 30 | 24 | 31.5 | 33 | 28.5 |
| 50 | 31 | 33 | 28 | 34.5 | 36 | 32 |
| 70 | 34 | 36 | 31 | 37 | 38 | 36 |
| 85 | 35.5 | 38 | 34 | 38 | – | 37 |
| 105 | 37 | – | 36 | – | – | 37.5 |
| 120 | 38 | – | 37 | – | – | 38 |

- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

## FX フォーマット ガイドナンバー表

### スタンダード配光、ISO 100･m

| 発光量 | 照射角（mm） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 14 | | | 24 | 28 | 35 | 50 | 70 | 85 | 105 | 120 |
| | WP＋BA | BA | WP | | | | | | | | |
| 1/1 | 10 | 14 | 14 | 23 | 25 | 28 | 31 | 34 | 35.5 | 37 | 38 |
| 1/2 | 7.1 | 9.9 | 9.9 | 16.3 | 17.7 | 19.8 | 21.9 | 24 | 25.1 | 26.2 | 26.9 |
| 1/4 | 5 | 7 | 7 | 11.5 | 12.5 | 14 | 15.5 | 17 | 17.8 | 18.5 | 19 |
| 1/8 | 3.5 | 4.9 | 4.9 | 8.1 | 8.8 | 9.9 | 11 | 12 | 12.6 | 13.1 | 13.4 |
| 1/16 | 2.5 | 3.5 | 3.5 | 5.8 | 6.3 | 7 | 7.8 | 8.5 | 8.9 | 9.3 | 9.5 |
| 1/32 | 1.8 | 2.5 | 2.5 | 4.1 | 4.4 | 4.9 | 5.5 | 6 | 6.3 | 6.5 | 6.7 |
| 1/64 | 1.3 | 1.8 | 1.8 | 2.9 | 3.1 | 3.5 | 3.9 | 4.3 | 4.4 | 4.6 | 4.8 |
| 1/128 | 0.9 | 1.2 | 1.2 | 2 | 2.2 | 2.5 | 2.7 | 3 | 3.1 | 3.3 | 3.4 |

## DX フォーマット ガイドナンバー表

### スタンダード配光、ISO 100･m

| 発光量 | 照射角（mm） | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 10 | | | 16 | 17 | 18 | 20 | 24 | 28 | 35 | 50 | 70 | 85 |
| | WP+BA | BA | WP | | | | | | | | | | |
| 1/1 | 10 | 14 | 14 | 23 | 23.5 | 24.5 | 26 | 28 | 29 | 31.5 | 34.5 | 37 | 38 |
| 1/2 | 7.1 | 9.9 | 9.9 | 16.3 | 17 | 17.7 | 18.7 | 19.8 | 20.5 | 21.9 | 24 | 26.2 | 26.9 |
| 1/4 | 5 | 7 | 7 | 11.5 | 12 | 12.5 | 13.3 | 14 | 14.5 | 15.5 | 17 | 18.5 | 19 |
| 1/8 | 3.5 | 4.9 | 4.9 | 8.1 | 8.5 | 8.8 | 9.4 | 9.9 | 10.3 | 11 | 12 | 13.1 | 13.4 |
| 1/16 | 2.5 | 3.5 | 3.5 | 5.8 | 6 | 6.3 | 6.6 | 7 | 7.3 | 7.8 | 8.5 | 9.3 | 9.5 |
| 1/32 | 1.8 | 2.5 | 2.5 | 4.1 | 4.2 | 4.4 | 4.7 | 4.9 | 5.1 | 5.5 | 6 | 6.5 | 6.7 |
| 1/64 | 1.3 | 1.8 | 1.8 | 2.9 | 3 | 3.1 | 3.3 | 3.5 | 3.6 | 3.9 | 4.3 | 4.6 | 4.8 |
| 1/128 | 0.9 | 1.2 | 1.2 | 2 | 2.1 | 2.2 | 2.3 | 2.5 | 2.6 | 2.7 | 3 | 3.3 | 3.4 |

- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

## FP発光時のガイドナンバー表

### FXフォーマット、スタンダード配光、ISO 100･m

| 発光量 | 照射角（mm） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 14 | | | 24 | 28 | 35 | 50 | 70 | 85 | 105 | 120 |
| | WP+BA | BA | WP | | | | | | | | |
| 1/1 | 4.6 | 6.4 | 6.4 | 10.5 | 11.5 | 12.8 | 14.2 | 15.6 | 16.3 | 17 | 17.4 |
| 1/2 | 3.3 | 4.5 | 4.5 | 7.4 | 8.1 | 9.1 | 10 | 11 | 11.5 | 12 | 12.3 |
| 1/4 | 2.3 | 3.2 | 3.2 | 5.3 | 5.8 | 6.4 | 7.1 | 7.8 | 8.2 | 8.5 | 8.7 |
| 1/8 | 1.6 | 2.3 | 2.3 | 3.7 | 4.1 | 4.5 | 5 | 5.5 | 5.8 | 6 | 6.2 |
| 1/16 | 1.2 | 1.6 | 1.6 | 2.6 | 2.9 | 3.2 | 3.6 | 3.9 | 4.1 | 4.3 | 4.4 |
| 1/32 | 0.8 | 1.1 | 1.1 | 1.9 | 2 | 2.3 | 2.5 | 2.8 | 2.9 | 3 | 3.1 |
| 1/64 | 0.6 | 0.8 | 0.8 | 1.3 | 1.4 | 1.6 | 1.8 | 2 | 2 | 2.1 | 2.2 |
| 1/128 | 0.4 | 0.6 | 0.6 | 0.9 | 1 | 1.1 | 1.3 | 1.4 | 1.4 | 1.5 | 1.5 |

### DXフォーマット、スタンダード配光、ISO 100･m

| 発光量 | 照射角（mm） | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 10 | | | 16 | 17 | 18 | 20 | 24 | 28 | 35 | 50 | 70 | 85 |
| | WP+BA | BA | WP | | | | | | | | | | |
| 1/1 | 4.6 | 6.4 | 6.4 | 10.5 | 10.8 | 11.2 | 11.9 | 12.8 | 13.3 | 14.4 | 15.8 | 17 | 17.4 |
| 1/2 | 3.3 | 4.5 | 4.5 | 7.4 | 7.6 | 7.9 | 8.4 | 9.1 | 9.4 | 10.2 | 11.2 | 12 | 12.3 |
| 1/4 | 2.3 | 3.2 | 3.2 | 5.3 | 5.4 | 5.6 | 6 | 6.4 | 6.7 | 7.2 | 7.9 | 8.5 | 8.7 |
| 1/8 | 1.6 | 2.3 | 2.3 | 3.7 | 3.8 | 4 | 4.2 | 4.5 | 4.7 | 5.1 | 5.6 | 6 | 6.2 |
| 1/16 | 1.2 | 1.6 | 1.6 | 2.6 | 2.7 | 2.8 | 3 | 3.2 | 3.3 | 3.6 | 4 | 4.3 | 4.4 |
| 1/32 | 0.8 | 1.1 | 1.1 | 1.9 | 1.9 | 2 | 2.1 | 2.3 | 2.4 | 2.5 | 2.8 | 3 | 3.1 |
| 1/64 | 0.6 | 0.8 | 0.8 | 1.3 | 1.4 | 1.4 | 1.5 | 1.6 | 1.7 | 1.8 | 2 | 2.1 | 2.2 |
| 1/128 | 0.4 | 0.6 | 0.6 | 0.9 | 1 | 1 | 1.1 | 1.1 | 1.2 | 1.3 | 1.4 | 1.5 | 1.5 |

- FP発光時のガイドナンバーはシャッタースピード1/500秒、D3カメラ装着時の値です。
- 上記FP発光時のガイドナンバーはシャッタースピードによって変化します。例えばシャッタースピードが1/500から1/1000になるとガイドナンバーは1段小さくなります。つまり高速になるほどガイドナンバーは小さくなります。
- BA：バウンスアダプター装着時
- WP：ワイドパネル使用時

##  電池別の発光間隔と発光回数

| 電池 | 最短発光間隔*1 | 発光回数*2 ／発光間隔*1 |
|---|---|---|
| アルカリ電池（1.5V） | 約 2.5 秒 | 160 回以上 /2.5 ～ 30 秒 |
| エボルタ乾電池（1.5V） | 約 2.5 秒 | 230 回以上 /2.5 ～ 30 秒 |
| リチウム電池（1.5V） | 約 3.5 秒 | 330 回以上 /3.5 ～ 30 秒 |
| ニッケル水素充電池（2600mAh） | 約 2.5 秒 | 260 回以上 /2.5 ～ 30 秒 |
| ニッケル水素充電池（エネループ） | 約 2.5 秒 | 230 回以上 /2.5 ～ 30 秒 |

*1：発光間隔は、30秒（リチウム電池使用時は120秒）に1回の発光を行ったときのフル発光相当からレディーライト点灯までの時間です。

*2：発光回数は、30秒（リチウム電池使用時は120秒）に1回の発光を行ったときの、フル発光相当から30秒以内にレディーライトが点灯する回数です。

- AF補助光・ズーム作動・表示パネルのバックライトを使用しない場合の数値です。
- 電池初期での性能です。電池の新旧、および同じ銘柄でも、電池性能の変更等によってデータが異なることがあります。
- エボルタ乾電池はパナソニック株式会社の商標です。

# 索引

## 英数字/五十音順

・各部の名称については「各部の名称」（🕮B-1）をご覧ください。

### 英数字



### あ

# 索引

## ら



## わ

# アフターサービスについて

## ■ この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、さらにご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターについては、使用説明書裏面をご参照ください。

### ●お願い

- お問い合わせいただく場合には、「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上、お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

## ■ 修理を依頼される場合は

この製品の修理を依頼される場合は、ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコンサービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。

## ■ 補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

## ■ インターネットご利用の方へ

ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/support/

製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX:03-5977-7499

## 【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

| お問い合わせ日： | 年　月　日 |
|---|---|
| お買い上げ日： | 年　月　日 |
| 製品名： | シリアル番号： |
| フリガナ<br>お名前： | |
| 連絡先ご住所：□自宅　□会社<br>〒<br><br>TEL:<br>FAX: | |
| 問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：<br>（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください） | |

※ このページはコピーしてお使いください。

| ※ 整理番号： |
|---|

## 製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

**0570-02-8000**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

**営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）**
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 に送信ください。

## 修理サービスのご案内

**インターネットでの修理のお申し込み**

下記 URL から「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みができます。宅配便などでお送りいただいた場合などの「修理金額見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/support/repair/

### 修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。

**0120-02-8155**

**営業時間：9：30～18：00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）**
※左記のフリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。

製品に関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターへお願いいたします。
修理に関するお問い合わせは、下記の修理センターへお願いいたします。

### 修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター>

230-0052　**横浜市鶴見区生麦**2-2-26

**0570-02-8200**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

**営業時間：9：30～17：30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）**
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

**●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。**

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン



Printed in China
TTOH01(10)
*8MSA3810-01*